通貨に関する実態調査
【令和２年度結果概要】

令和２年度調査概要

調査受託業者：株式会社　日本リサーチセンター

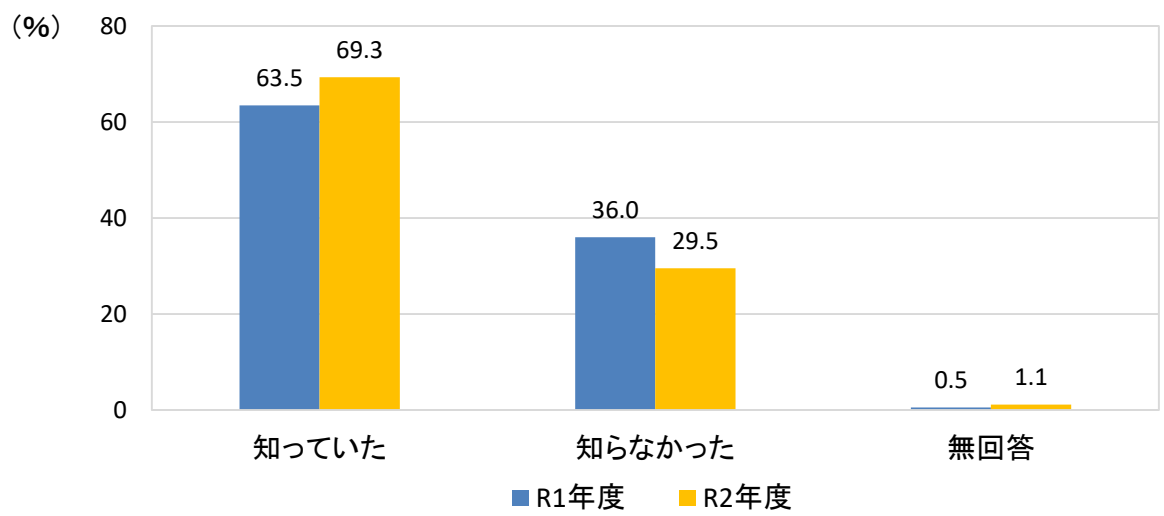
調査期間：令和3年1月29日（金）～3月9日（火）

調査対象：全国15～79歳の男女個人1,222人

調査方法：郵送調査

【問１】通貨の仕様について（新しい銀行券）

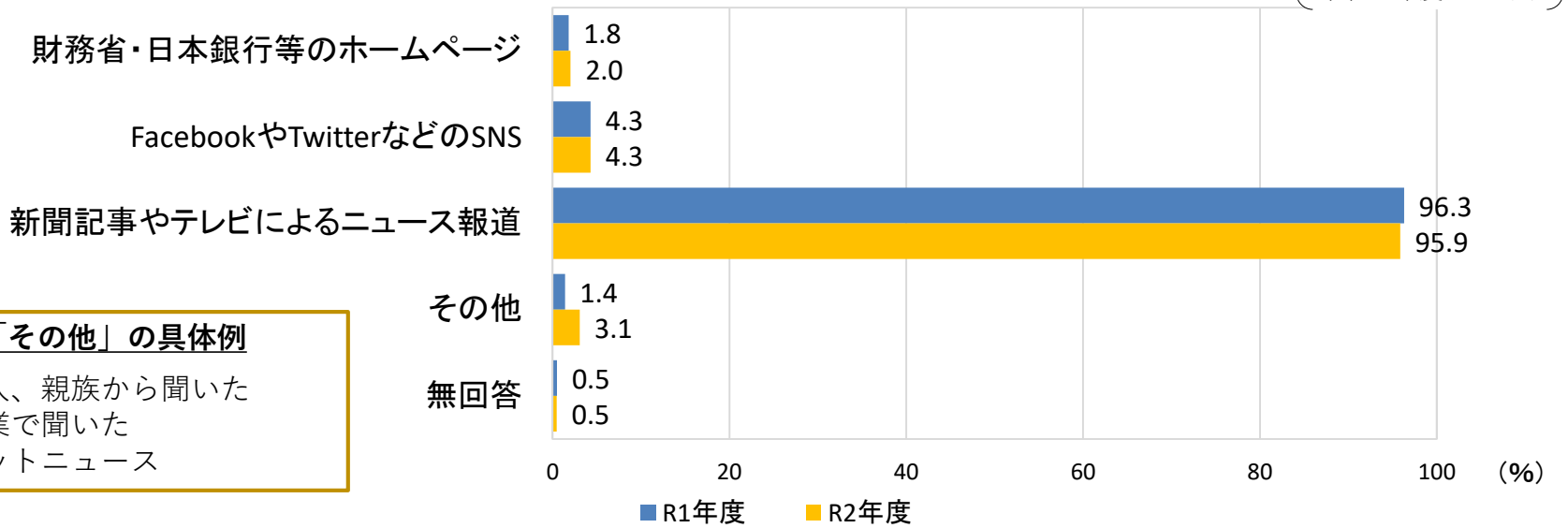
【問１イ】新たに発行される銀行券をご存じですか。（１つだけ回答）



対象人数
令和元年度：1200人
令和２年度：1222人

【問１ロ】新しい銀行券の発行に関する情報は、どのように知りましたか。（複数回答）

※問１イで「知っていた」と答えた人が対象。



対象人数
令和元年度：762人
令和２年度：847人

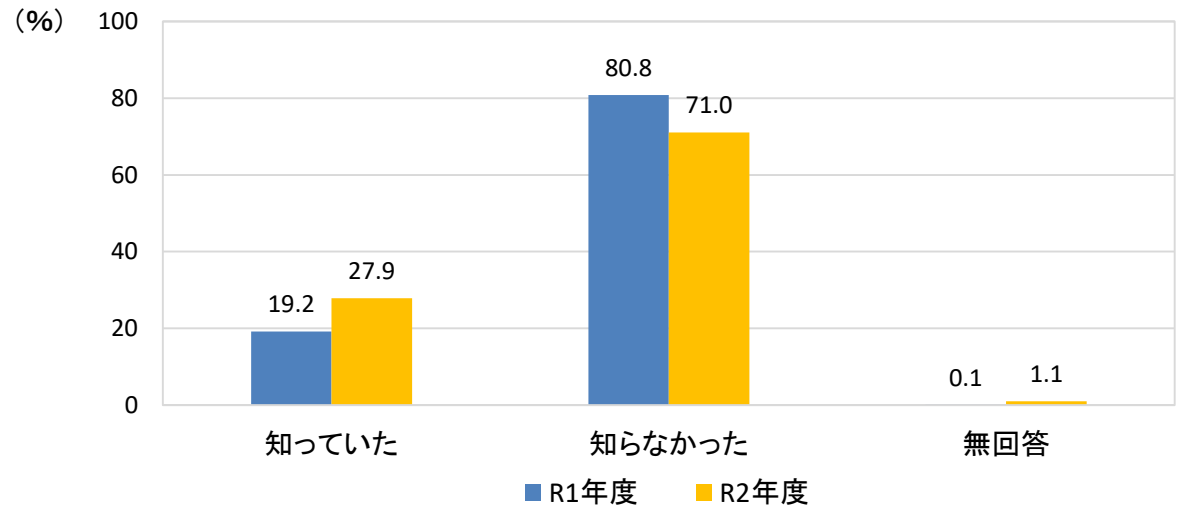
「その他」の具体例

- 知人、親族から聞いた
- 授業で聞いた
- ネットニュース

【問２】通貨の仕様について（新しい五百円貨幣）

【問２イ】新たに発行される五百円貨幣をご存じですか。（１つだけ回答）

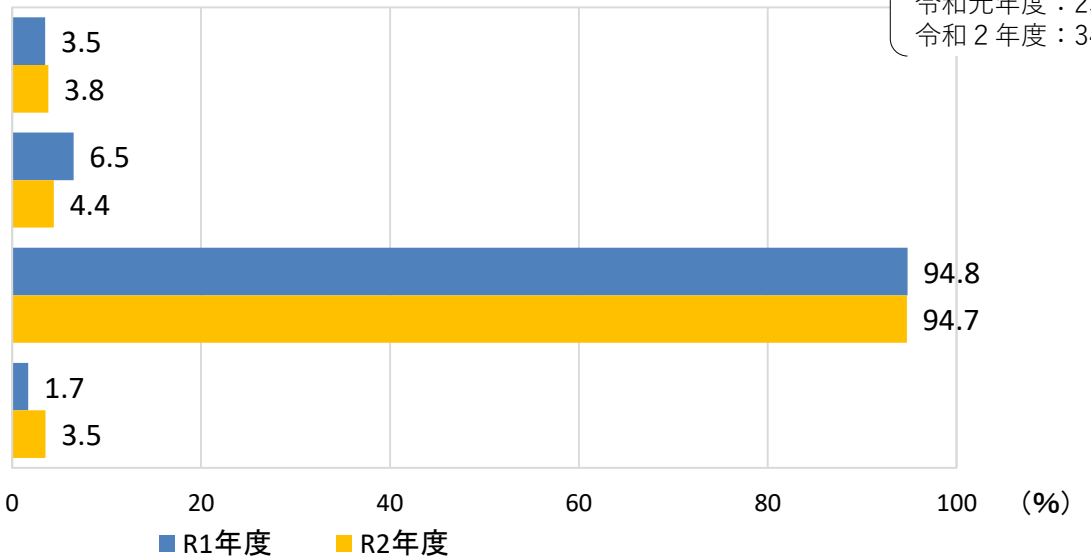
対象人数
令和元年度：1200人
令和２年度：1222人



【問２ロ】新しい五百円貨幣の発行に関する情報は、どのように知りましたか。（複数回答）

※問２イで「知っていた」と答えた人が対象。

対象人数
令和元年度：230人
令和２年度：341人



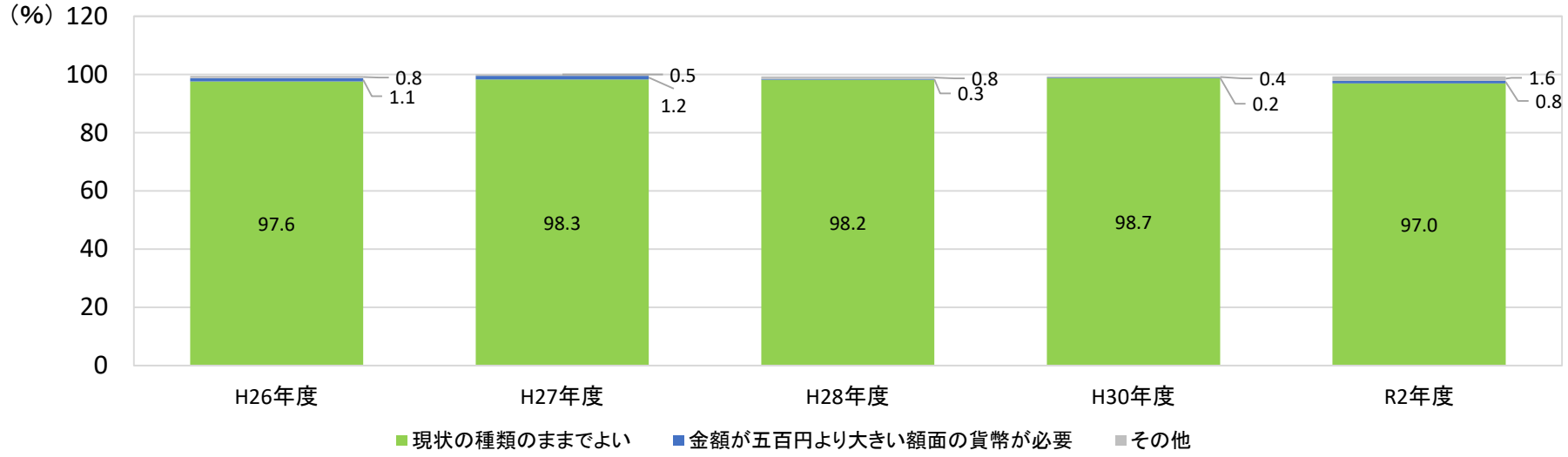
「その他」の具体例

- ネットニュース
- 職場で知った

【問３】通貨の仕様について（通貨の種類）

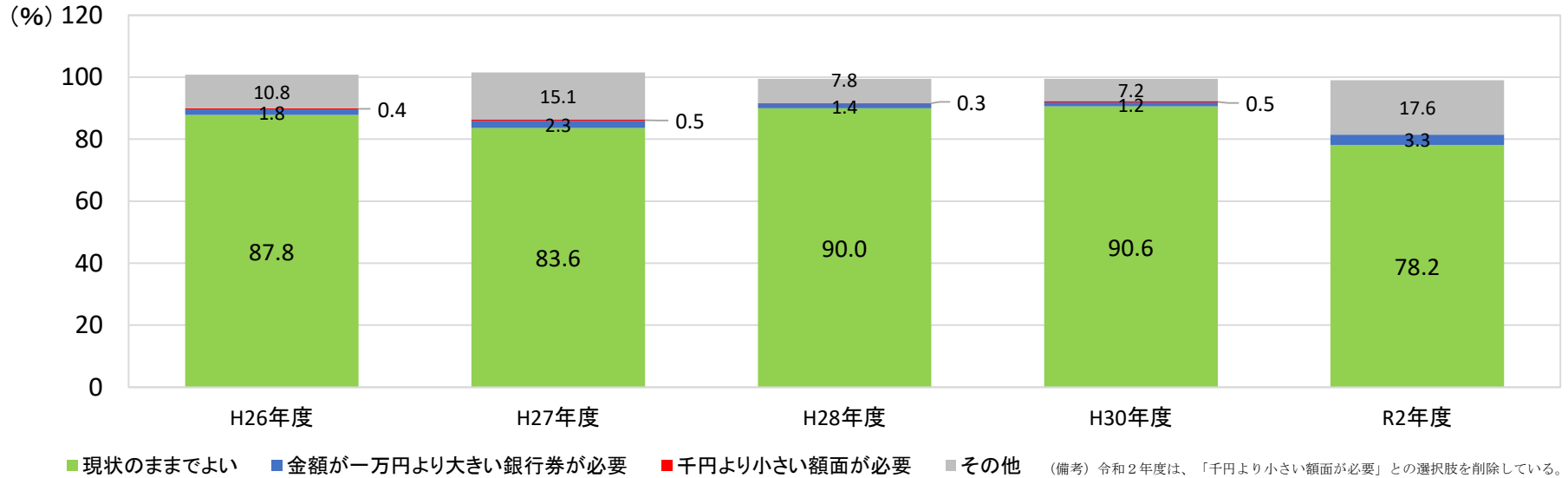
【問３イ】貨幣の種類について、どのように感じていますか（複数回答）

対象人数　令和元年度以前：1200人
　　令和２年度　　：1222人



【問３ロ】銀行券の種類について、どのように感じていますか（複数回答）

対象人数 令和元年度以前：1200人
　　令和２年度　　：1222人

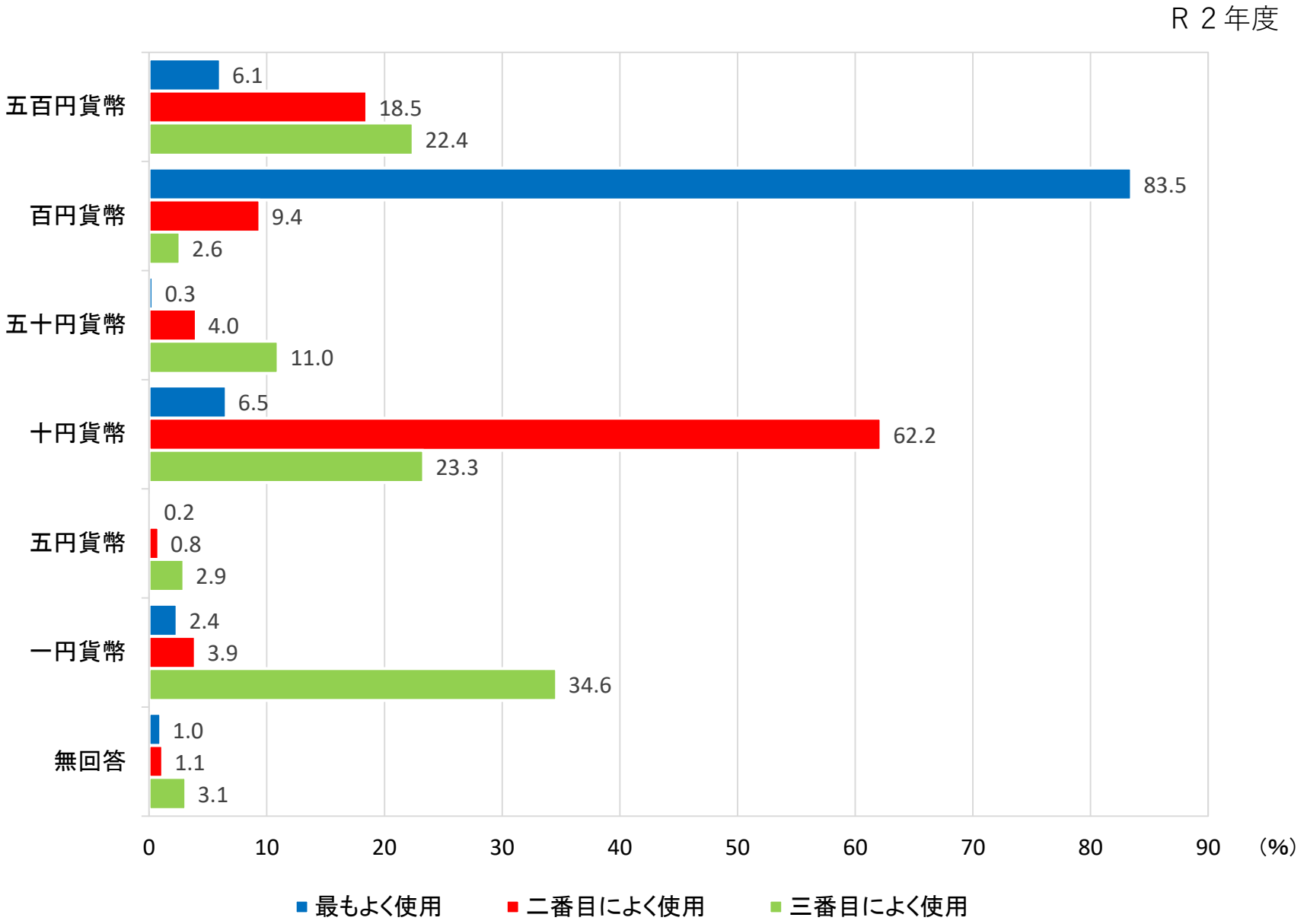


（備考）令和２年度は、「千円より小さい額面が必要」との選択肢を削除している。

【問４】通貨の利便性について

（対象人数：1222人）

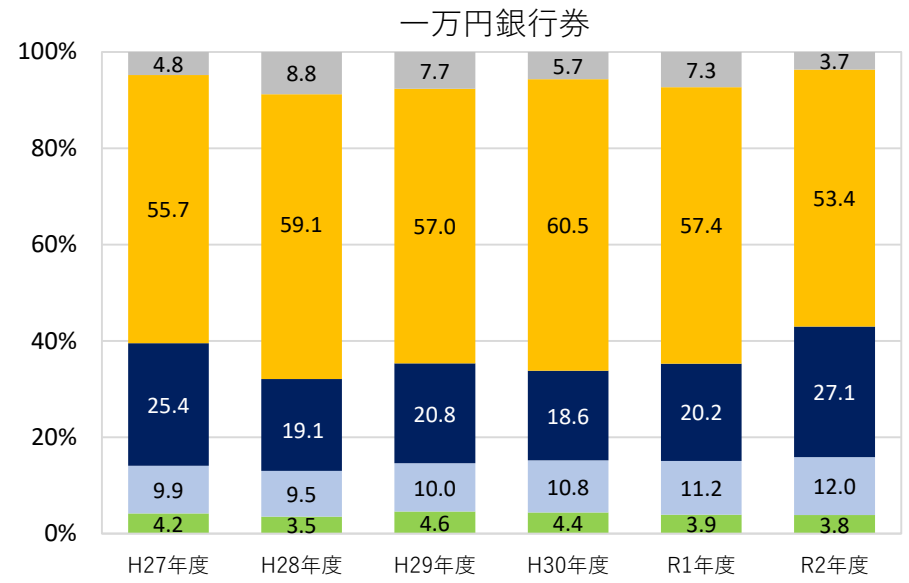
【問４】日々の買い物や飲食店での支払いでよく使用するものはどれですか。（1つずつ回答）

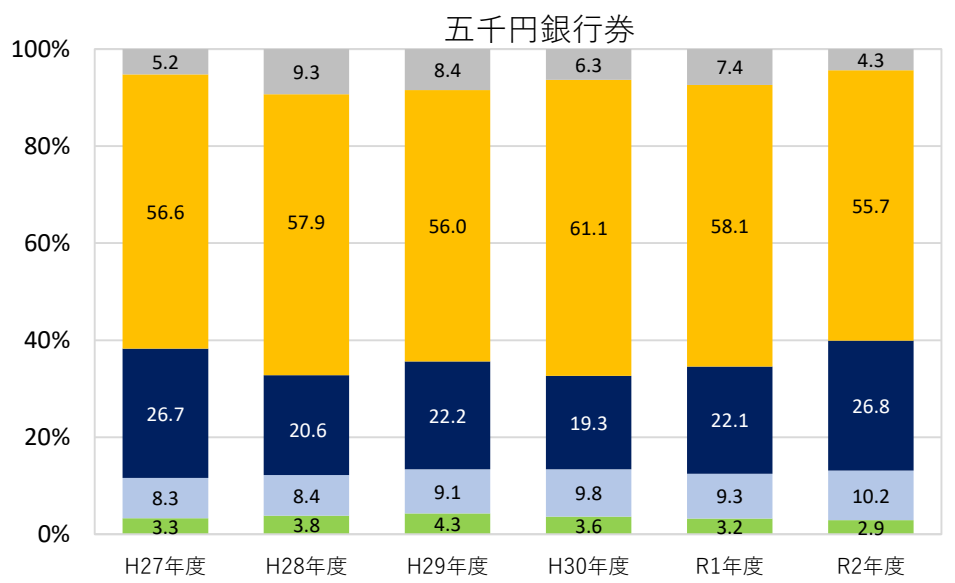


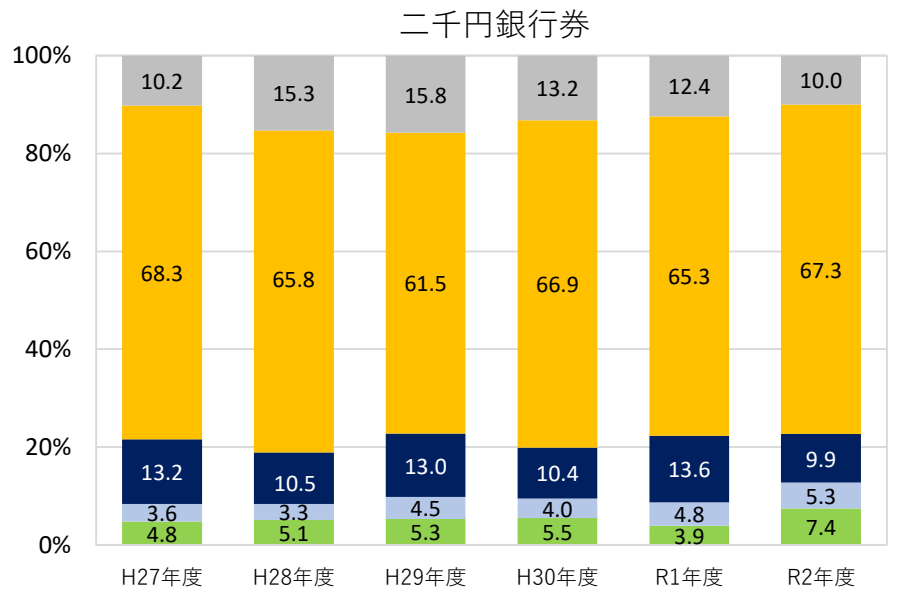
【問５】通貨の利便性について

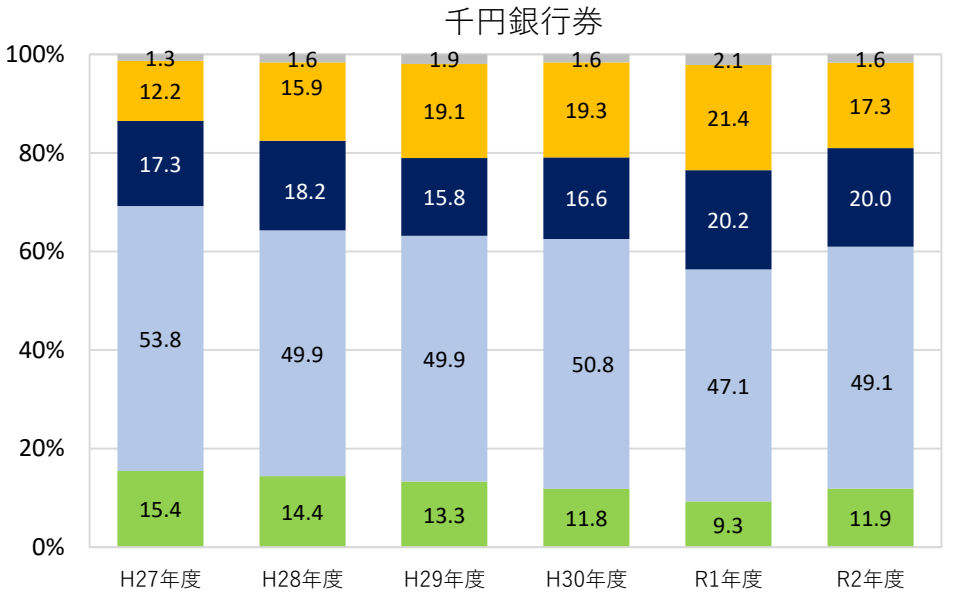
対象人数　令和元年度以前：1200人
令和２年度　　：1222人

【問５】自動販売機等に銀行券や貨幣を投入後、返却されてしまうことはありますか。（１つずつ回答）







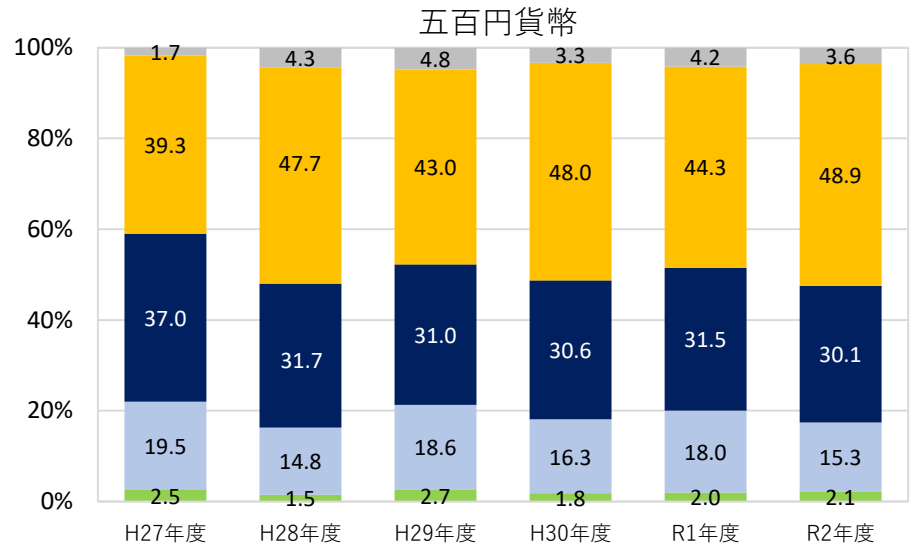


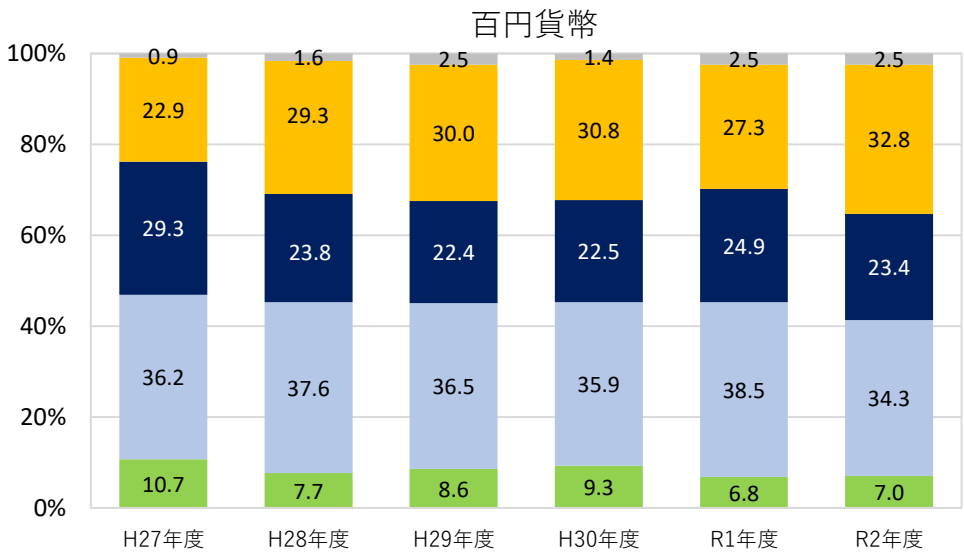
よくある　たまにある　あまりない　ない　無回答

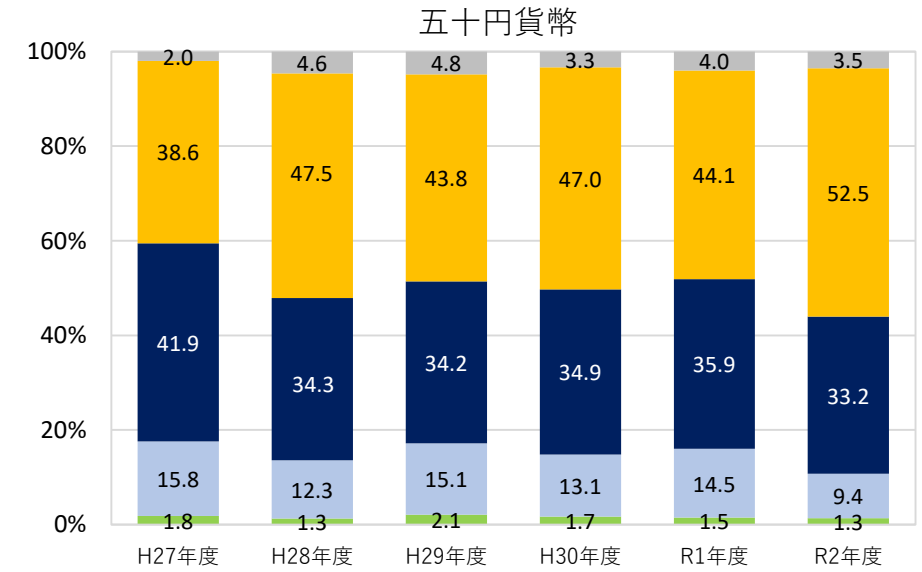
【問５】通貨の利便性について

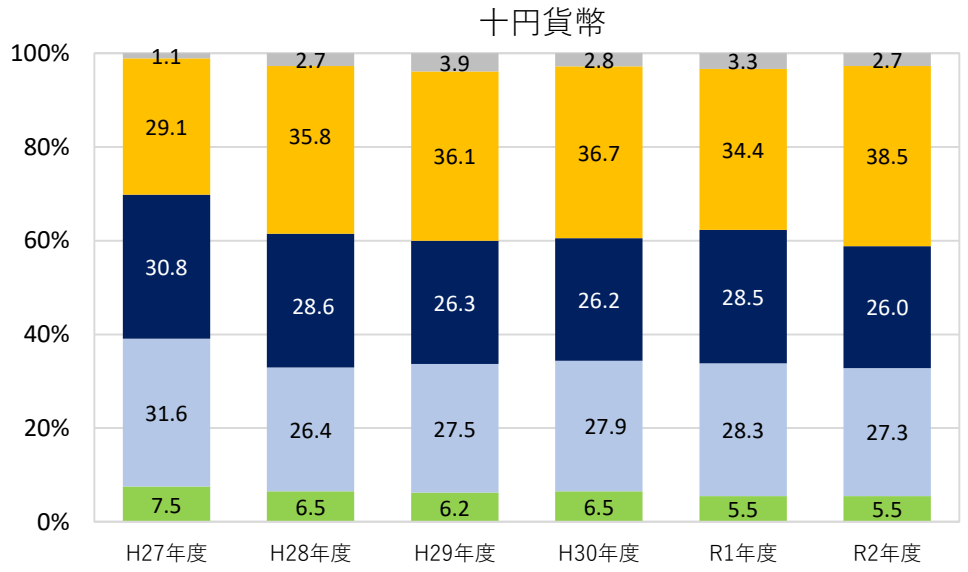
対象人数　令和元年度以前：1200人
令和２年度　　：1222人

【問５】自動販売機等に銀行券や貨幣を投入後、返却されてしまうことはありますか。（１つずつ回答）





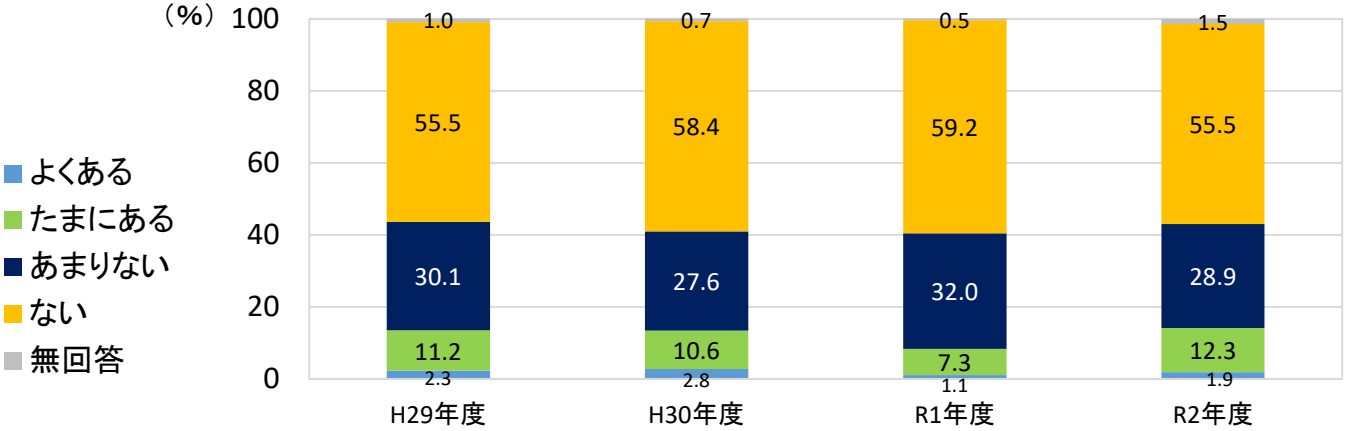




よくある　たまにある　あまりない　ない　無回答

【問６】通貨の利便性について

【問６イ】金融機関（ＡＴＭ含む）において、希望する銀行券や貨幣の両替や預金の引き出しなどができなかった経験はありますか。（１つだけ回答）

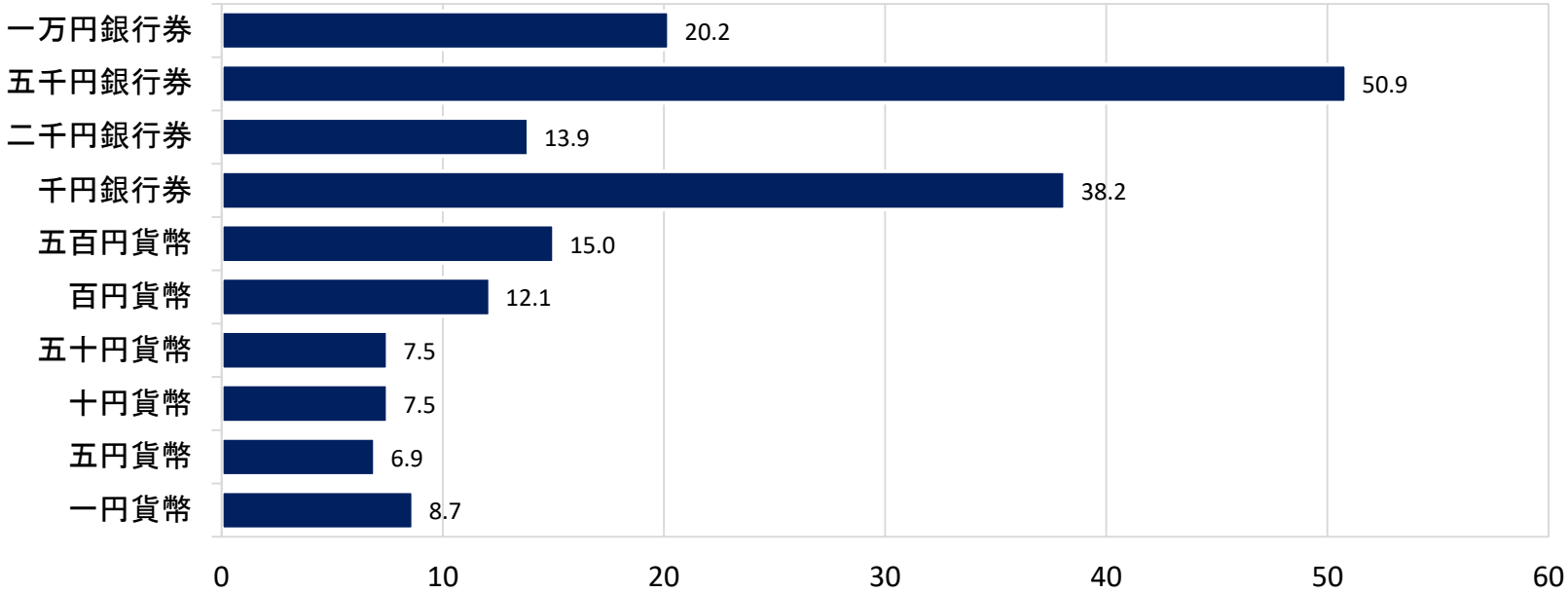


対象人数
令和元年度以前：1200人
令和２年度　　：1222人

【問６ロ】両替や預金の引き出しなどができなかった銀行券や貨幣の種類はどれですか。（複数回答）

※問６イで「よくある」、「たまにある」と答えた人が対象。

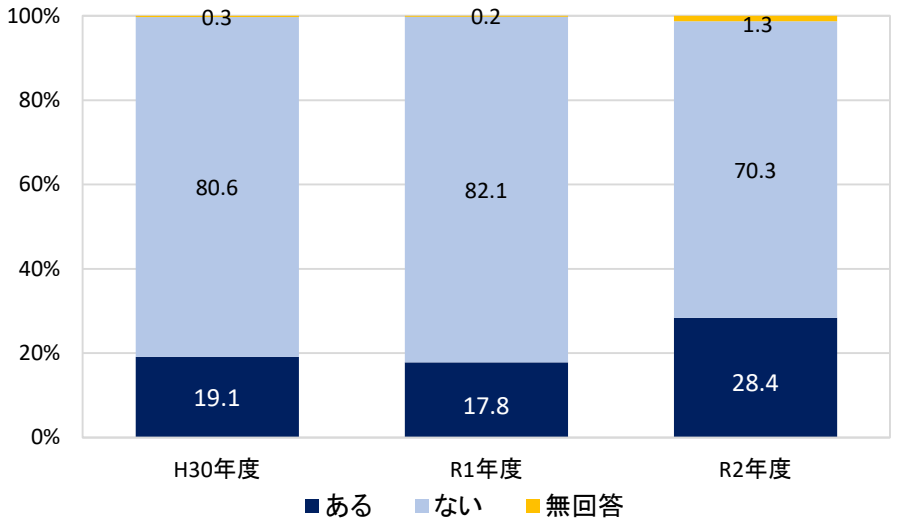
（対象人数：173人）



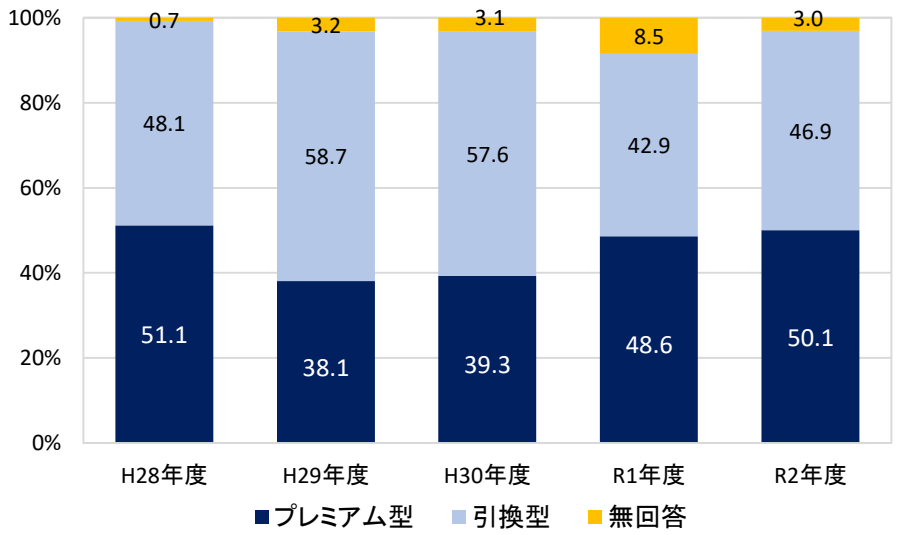
【問７】記念貨幣について

対象人数　令和元年度以前：1200人
令和２年度　　：1222人

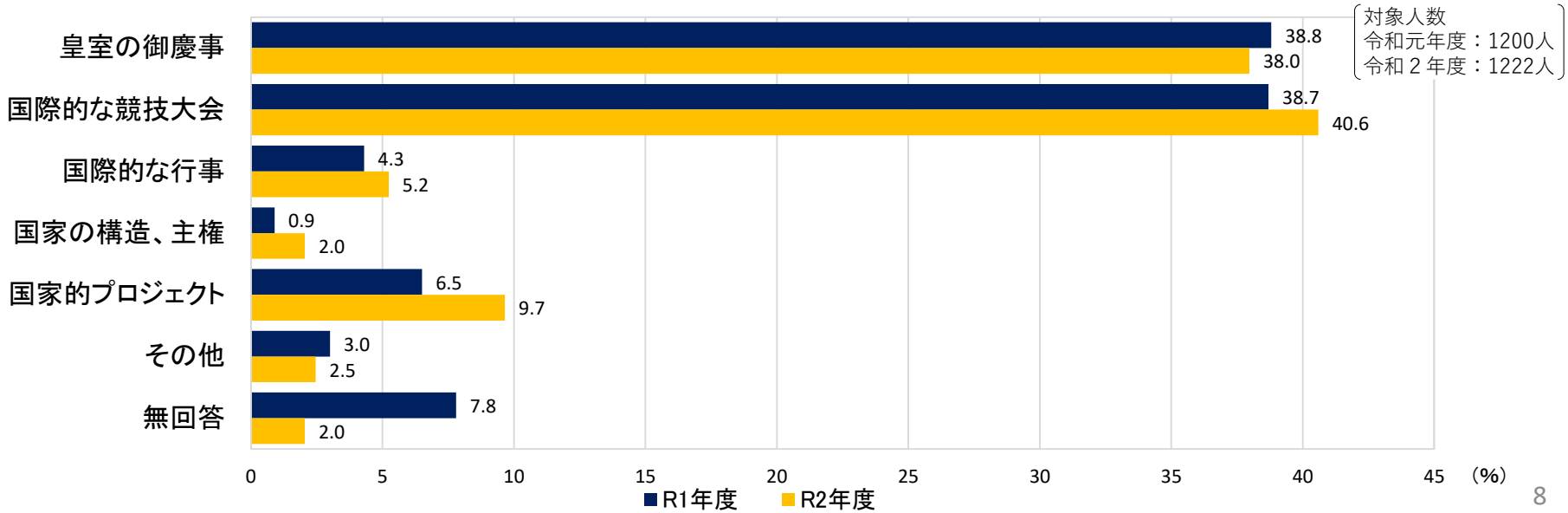
【問７イ】記念貨幣を実際に購入又は金融機関の窓口での引換えにより入手したことはありますか。（１つだけ回答）



【問７ロ】記念貨幣には『プレミアム型』と『引換型』がありますが、どちらにより関心がありますか。（１つだけ回答）



【問７ハ】過去発行された記念貨幣について最も関心があるテーマをお答えください。（１つだけ回答）

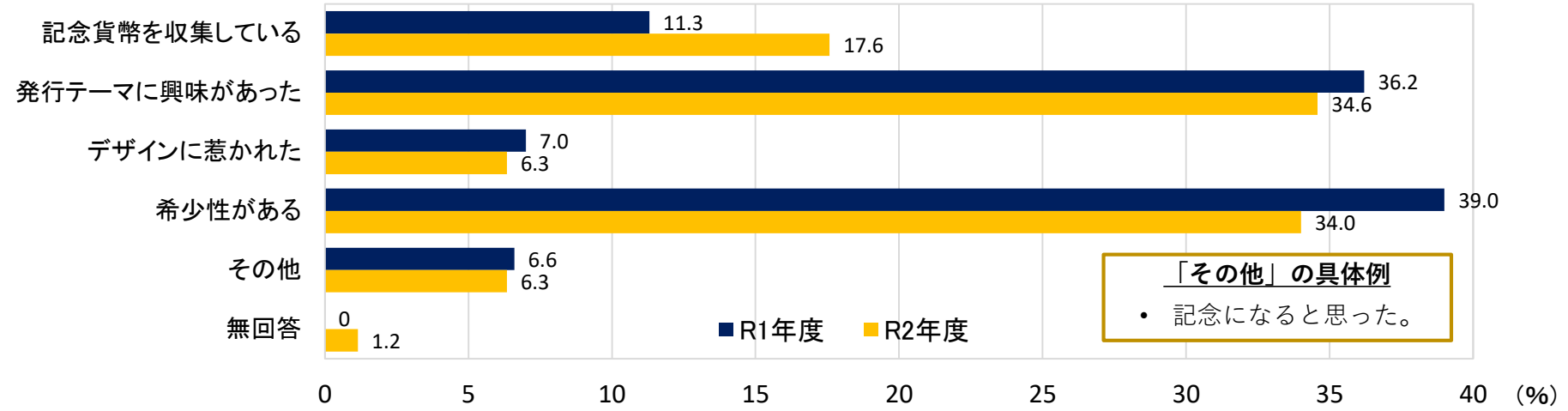


【問８】記念貨幣について

【問８イ】記念貨幣を購入又は引換えにより入手した理由（１つだけ回答）

対象人数　令和元年度：213人
令和２年度：347人

※問７イで記念貨幣を購入又は引き換えにより入手したことが「ある」と答えた人が対象。



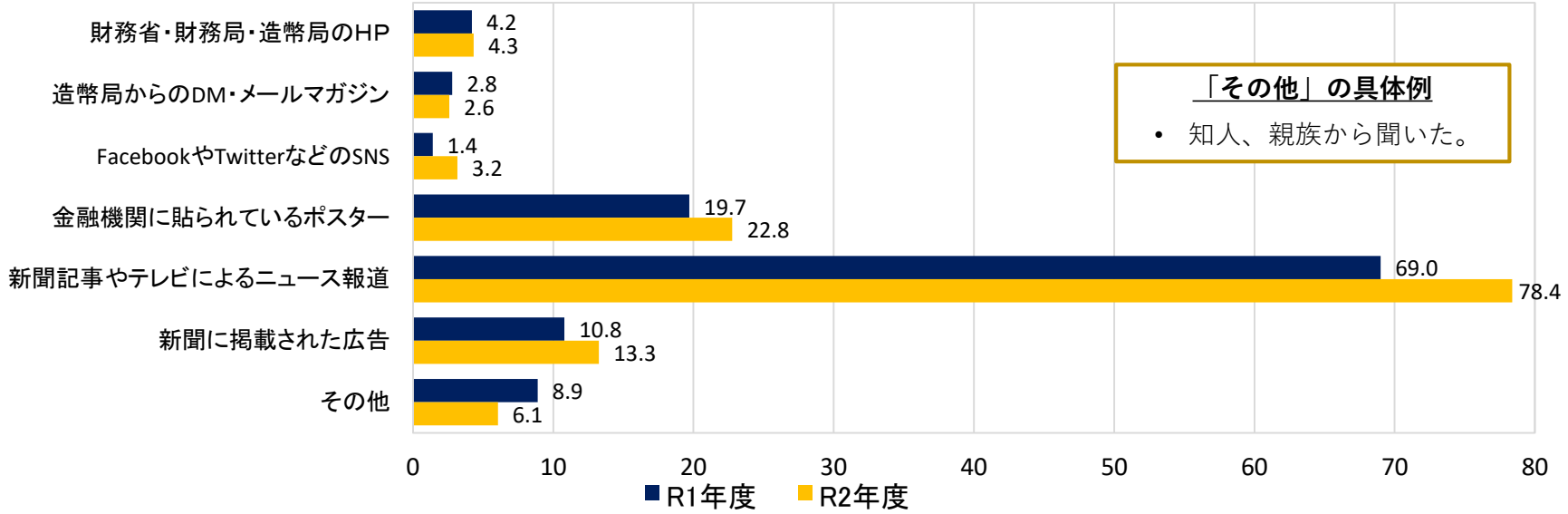
「その他」の具体例

- 記念になると思った。

【問８ロ】記念貨幣の発行に関する情報は、どのように知りましたか。（複数回答）

※問７イで記念貨幣を購入又は引き換えにより入手したことが「ある」と答えた人が対象。

対象人数　令和元年度：213人
令和２年度：347人



「その他」の具体例

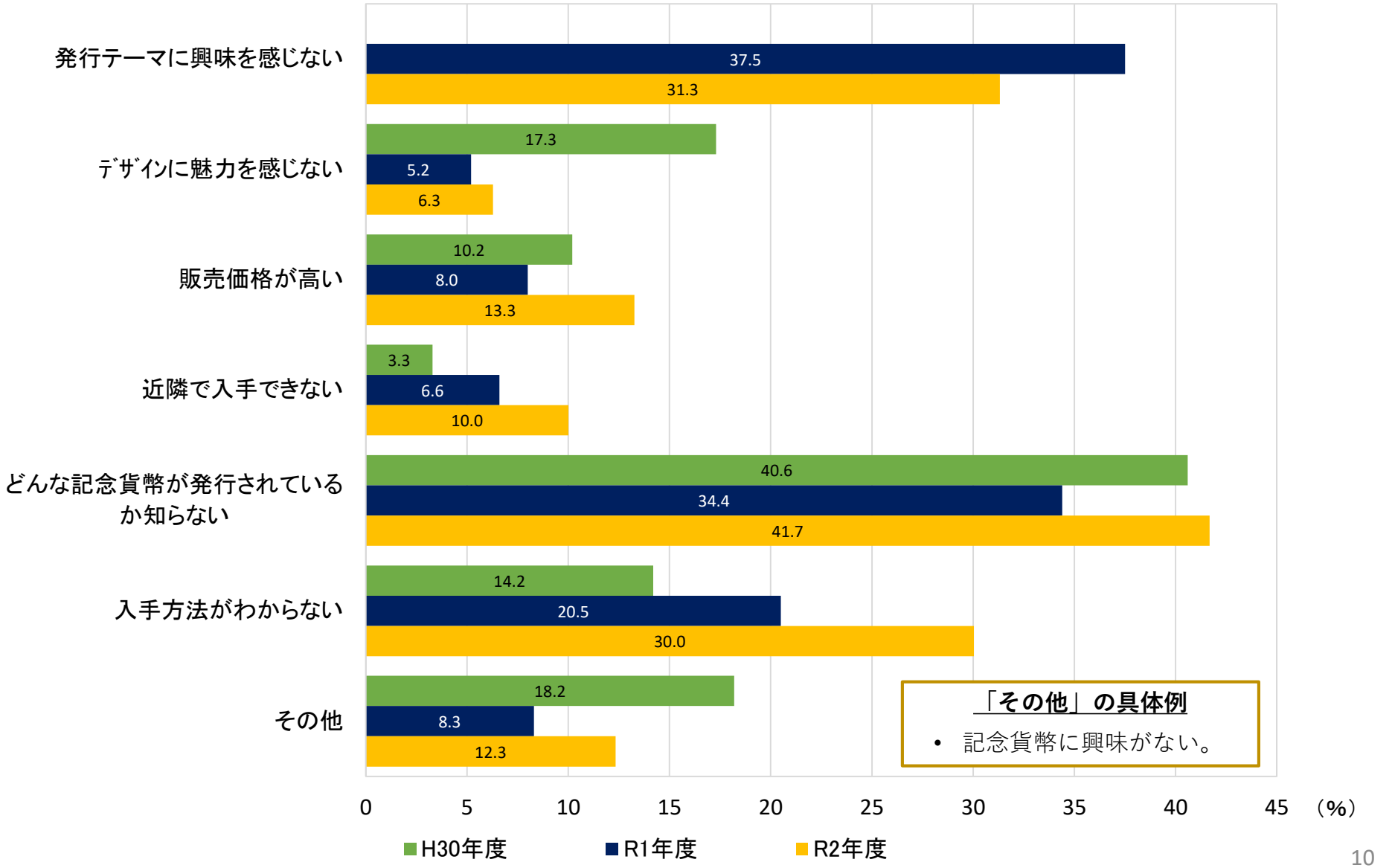
- 知人、親族から聞いた。

【問９】記念貨幣について

【問９】記念貨幣を購入又は引換えにより入手したことがないとお答えの理由（複数回答）

※問７イで「記念貨幣を購入又は引換えにより入手したことがない」と答えた人が対象。

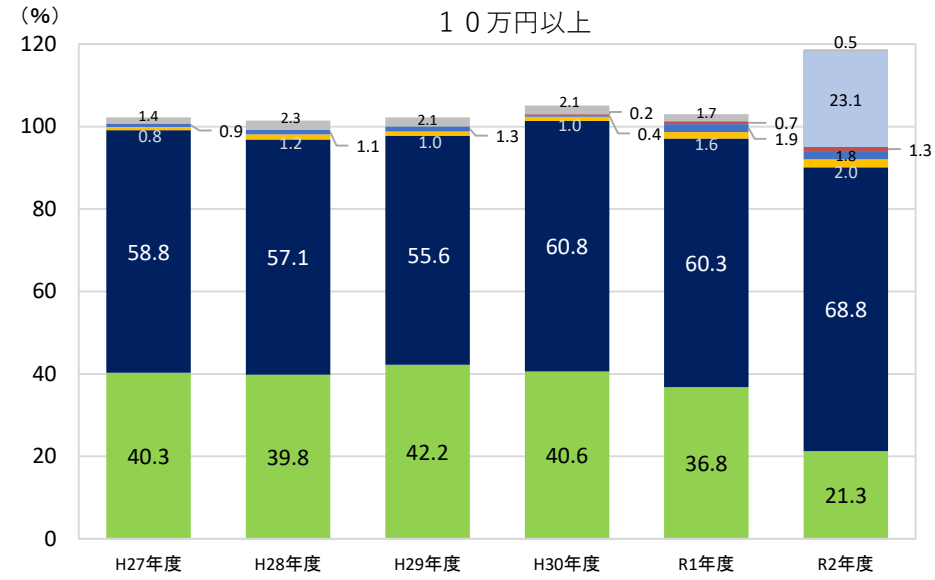
対象人数　平成30年度：967人
令和元年度：985人
令和２年度：859人

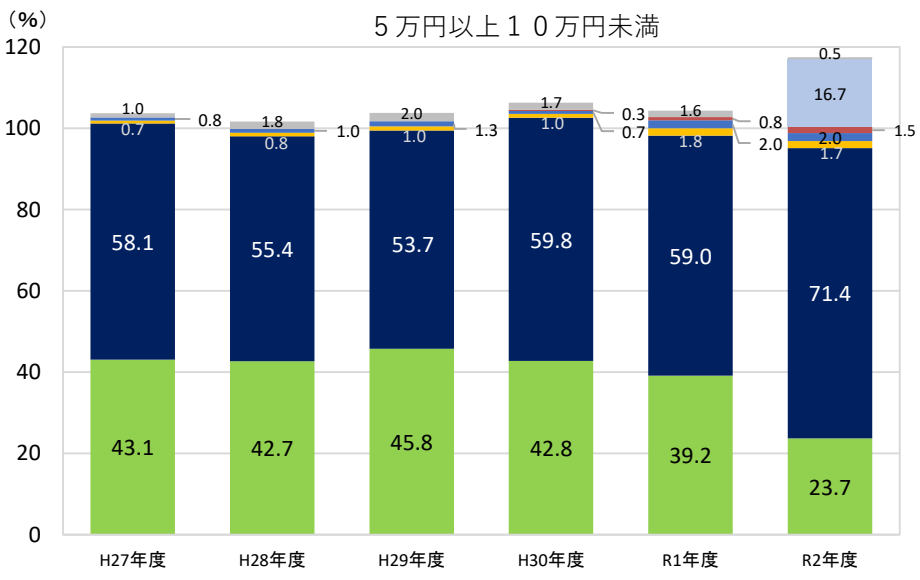


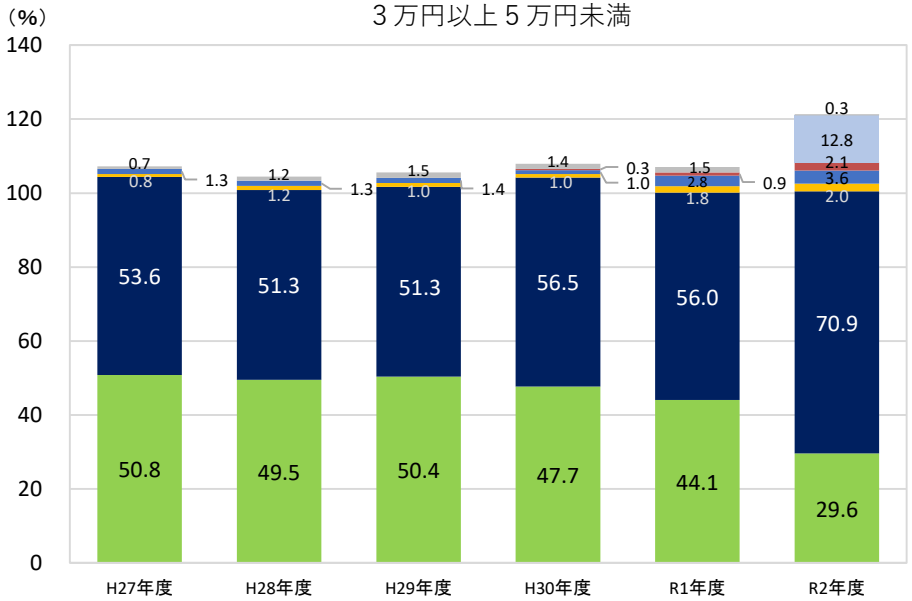
【問１０】キャッシュレス決済について

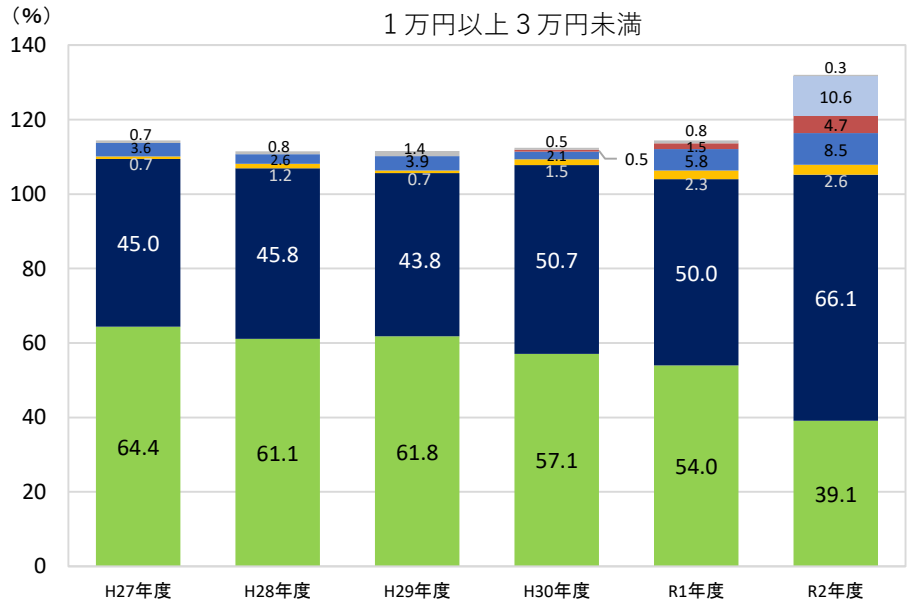
対象人数　令和元年度以前：1200人
令和２年度　　：1222人

【問１０】日々の買い物や飲食店での支払い等において、主にどのような決済手段を利用しますか。（複数回答）







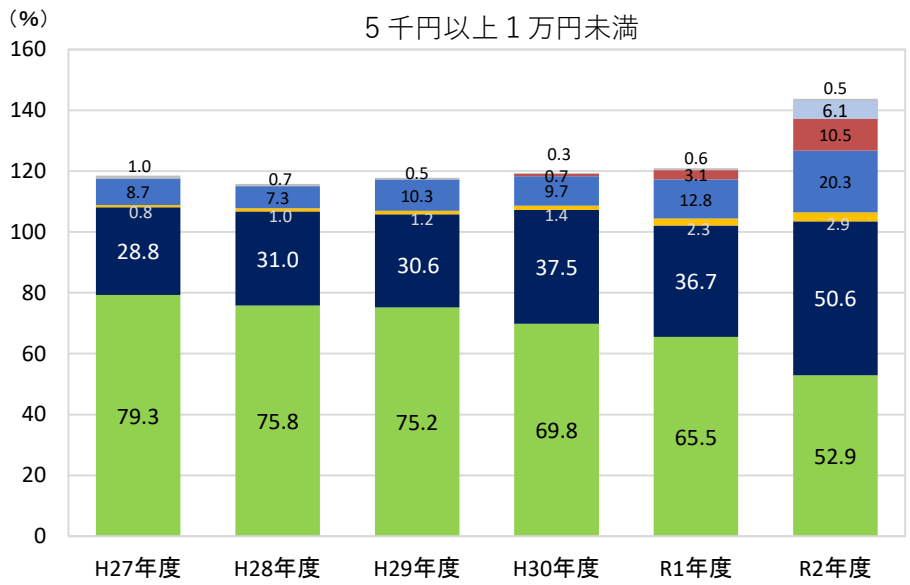


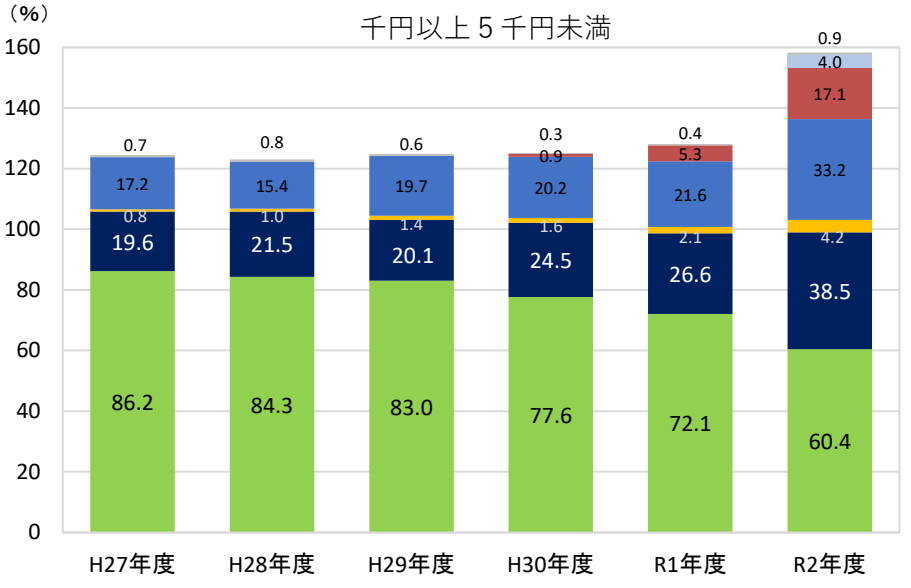
（備考）令和２年度から「銀行振込」の選択肢を追加している。

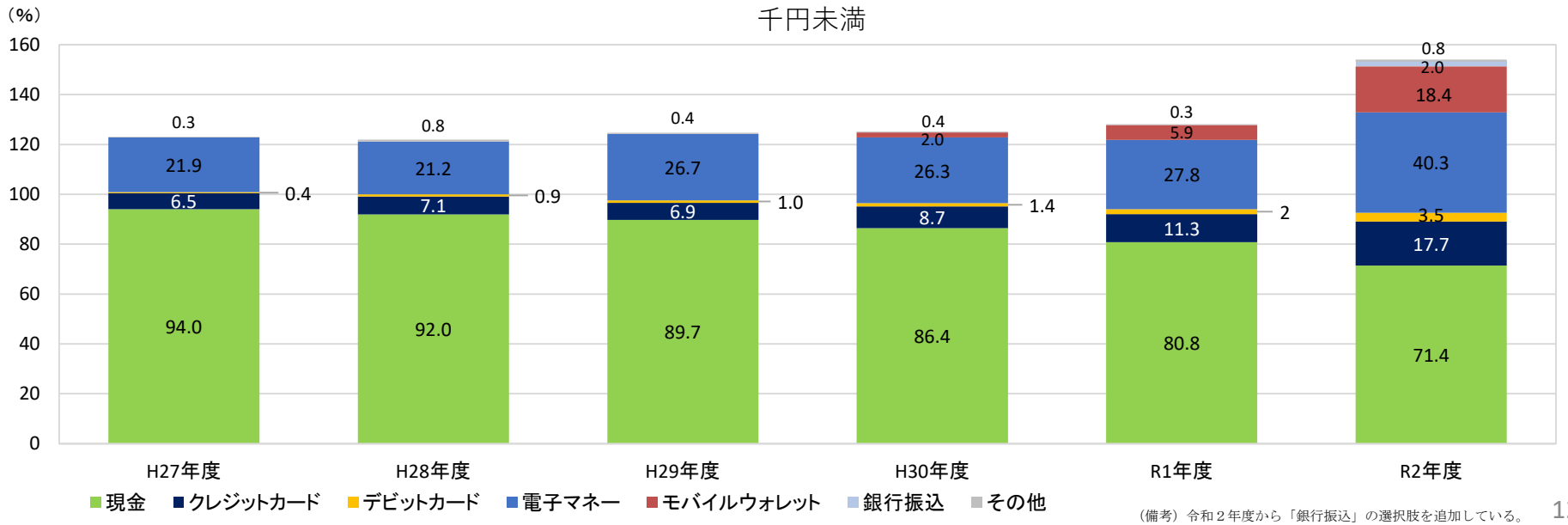
【問１０】キャッシュレス決済について

対象人数　令和元年度以前：1200人
令和２年度　　：1222人

【問１０】日々の買い物や飲食店での支払い等において、主にどのような決済手段を利用しますか。（複数回答）





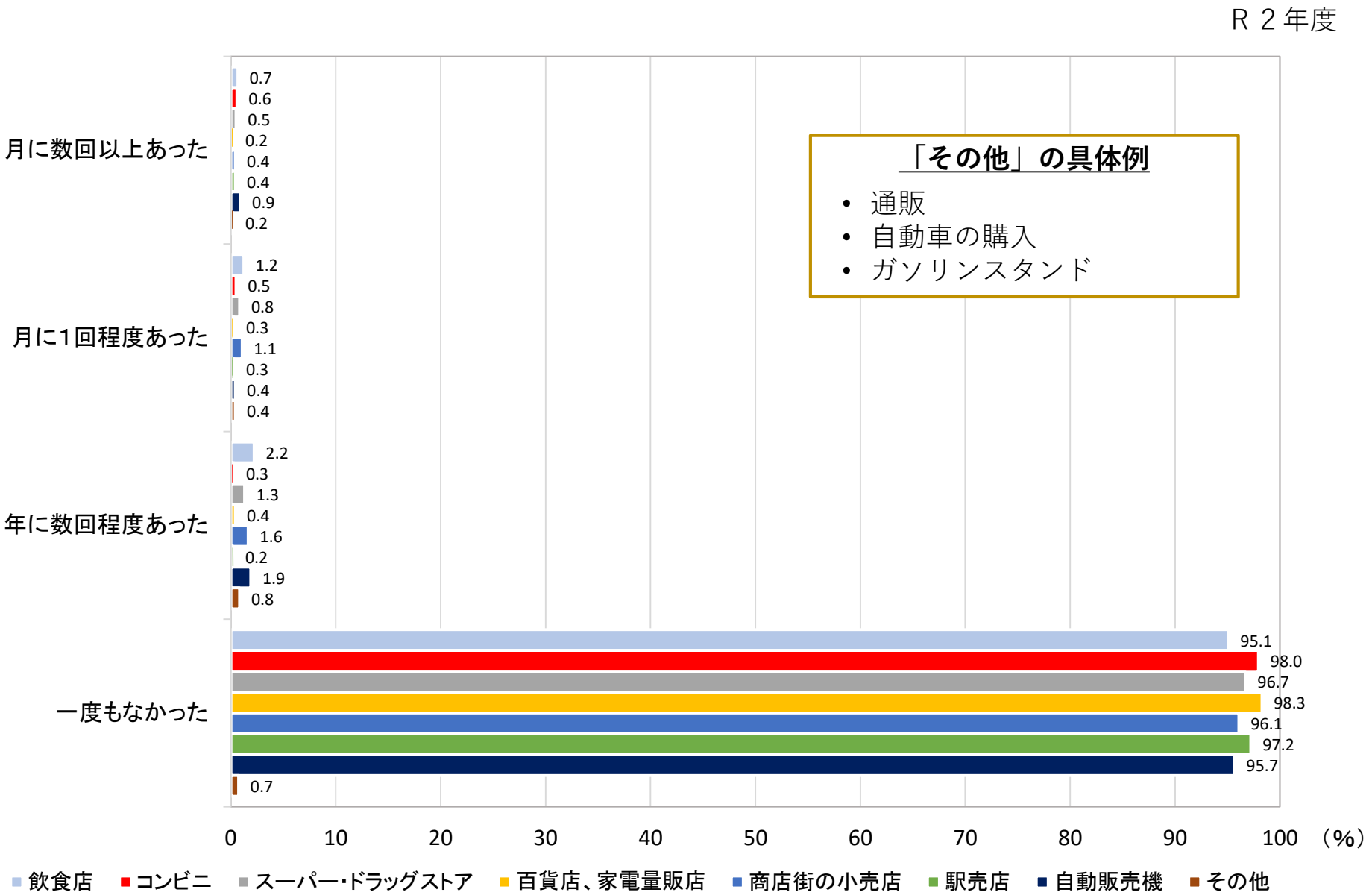


（備考）令和２年度から「銀行振込」の選択肢を追加している。

【問１１】キャッシュレス決済について

（対象人数：1222人）

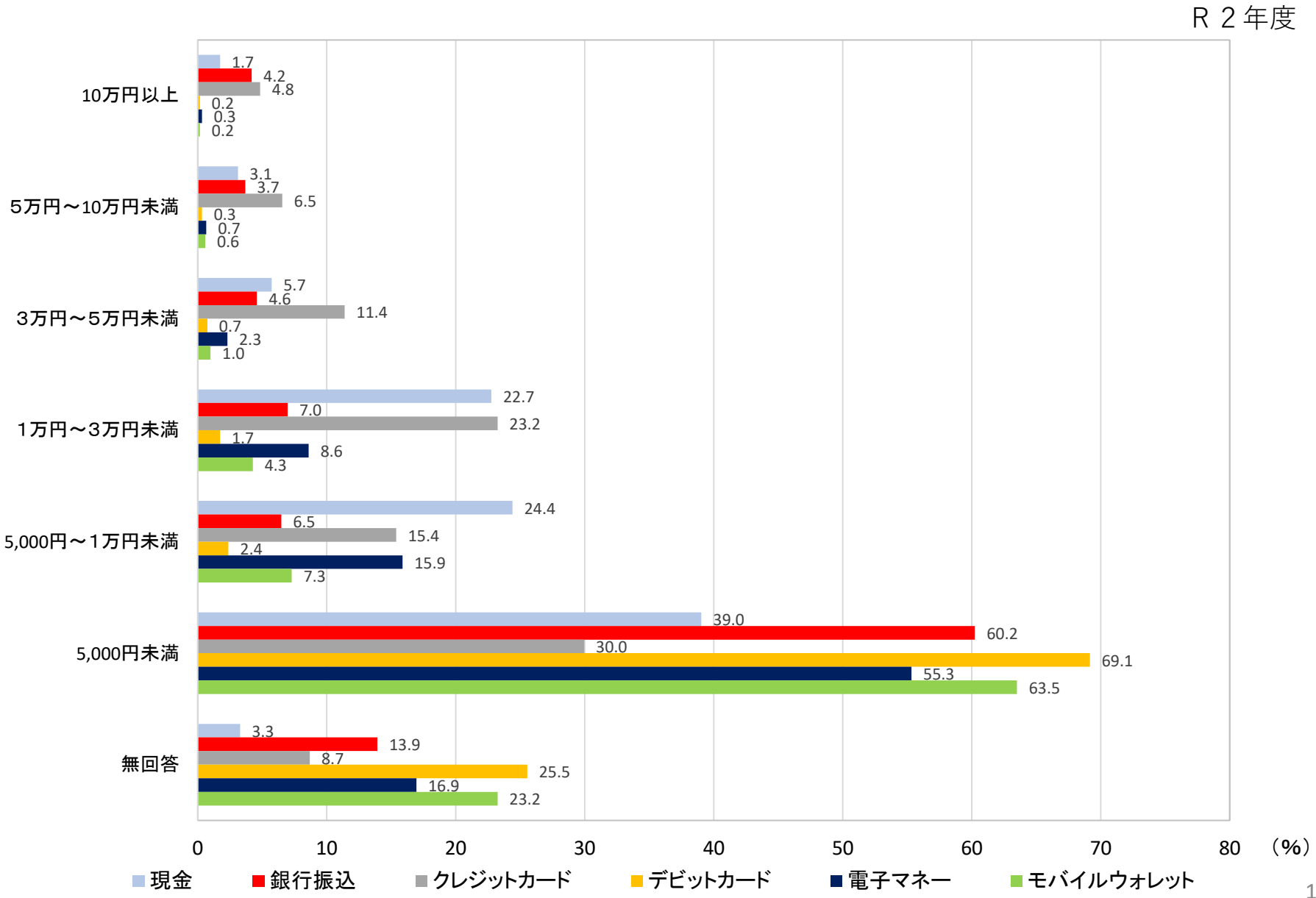
【問１１】買い物や飲食店での支払い等において、現金での支払いを断られた・できなかった経験（１つずつ回答）



【問１２】キャッシュレス決済について

（対象人数：1222人）

【問１２】それぞれの決済方法の１週間当たりの平均利用金額。（１つずつ回答）

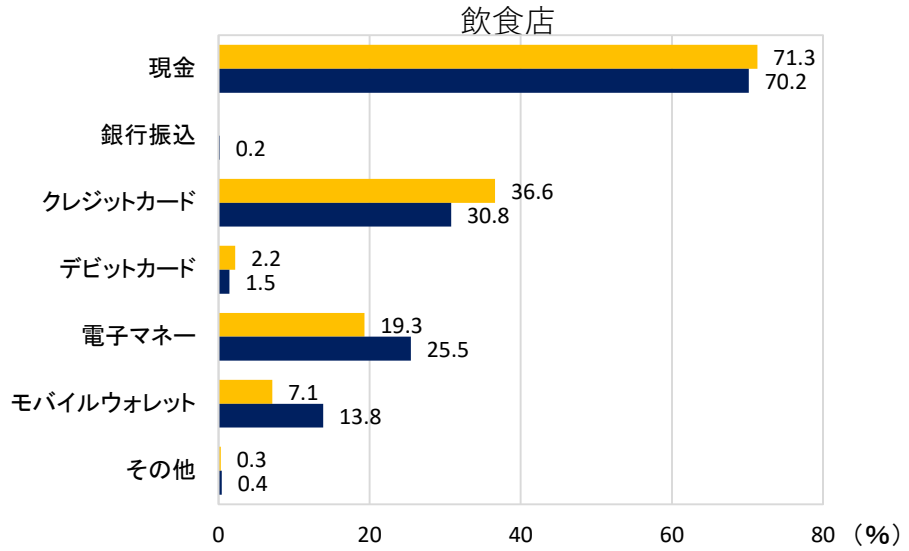


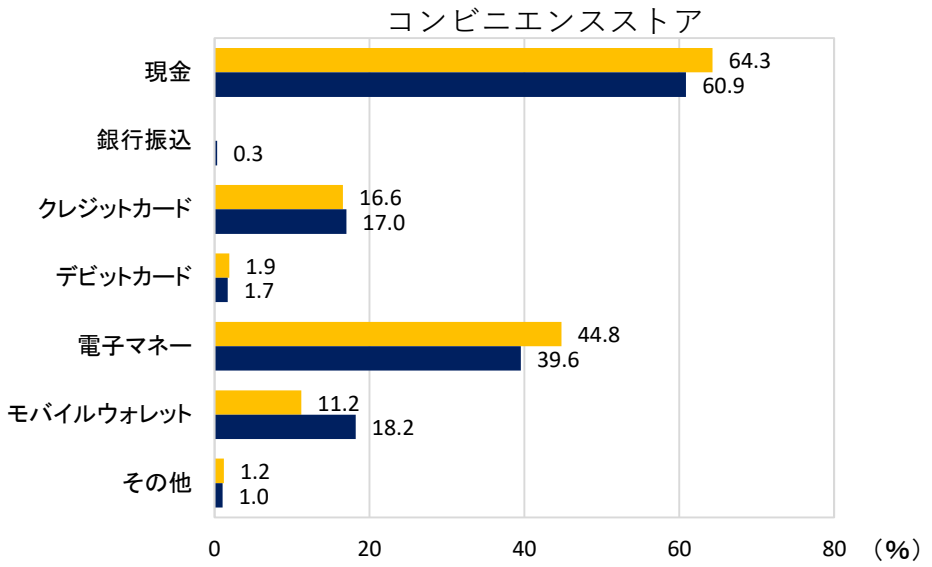
【問１３】キャッシュレス決済について

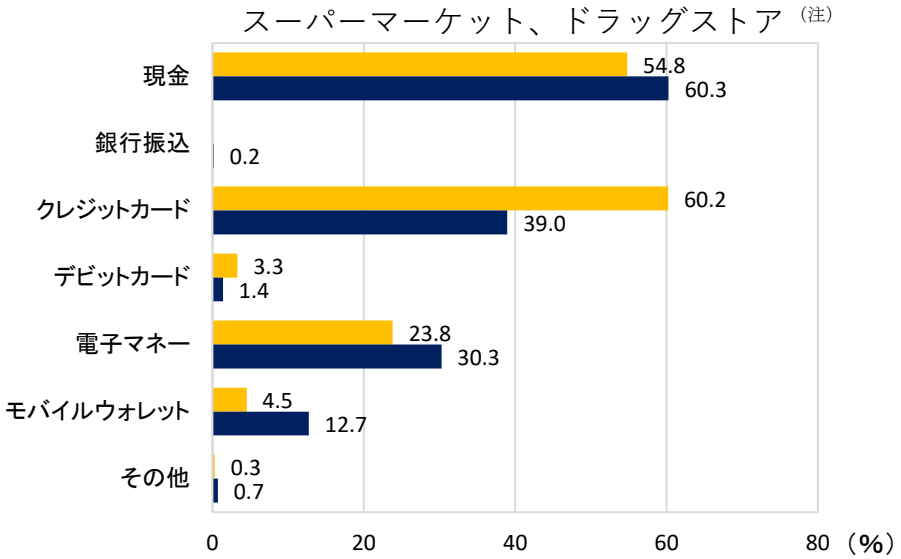
対象人数　令和元年度：734人　令和２年度：1163人

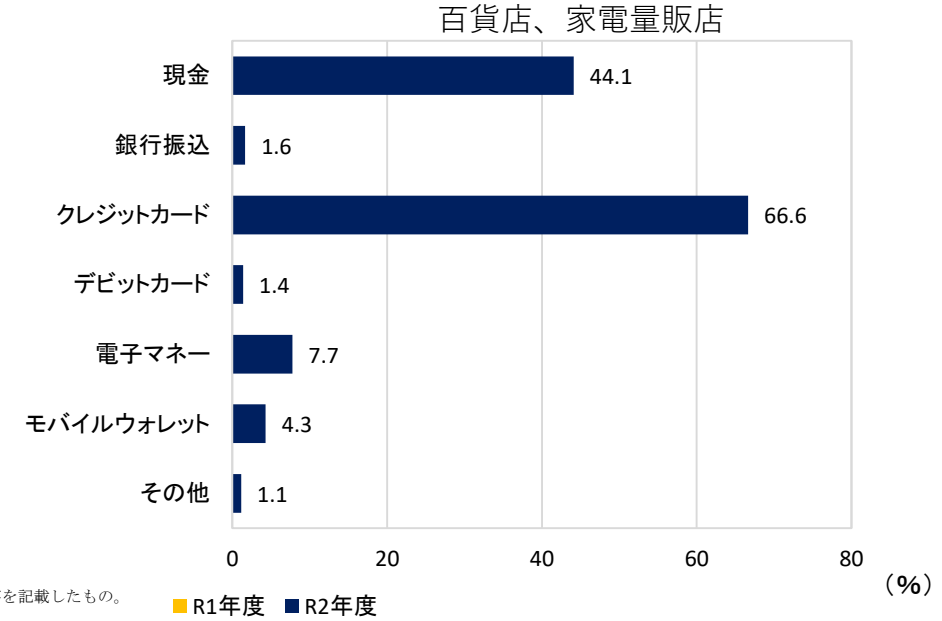
【問１３イ】支払い場所ごとに、どのような決済手段を利用されますか。（複数回答）

※キャッシュレス決済を利用したことがある方が対象。









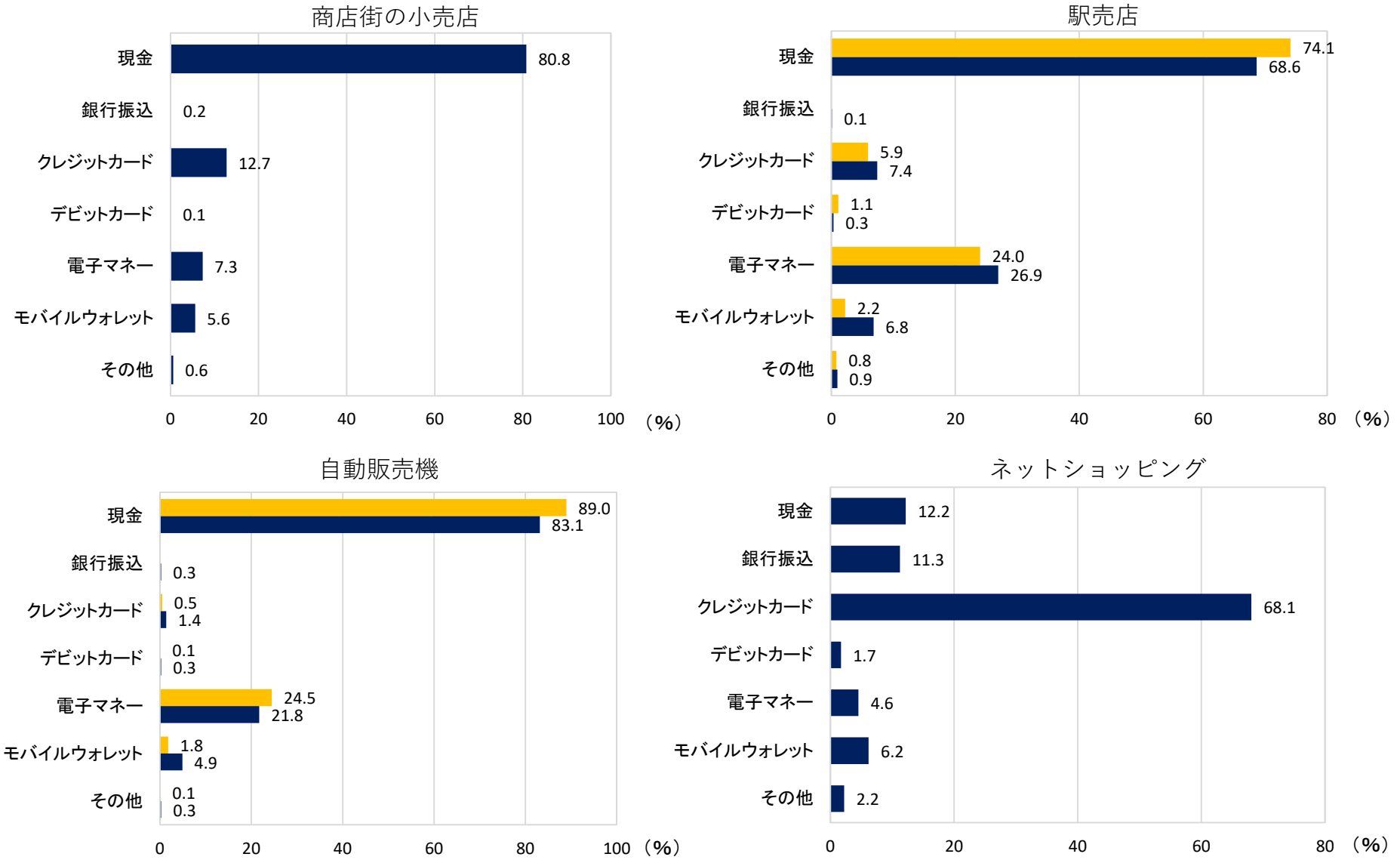
（注）令和元年度の計数は、「スーパーマーケット（ホームセンター、家電量販店を含む）、百貨店」との選択肢に対する回答を記載したもの。
（備考）令和２年度から「銀行振込」の選択肢を追加している。

【問１３】キャッシュレス決済について

対象人数　令和元年度：734人　令和２年度：1163人

【問１３イ】支払い場所ごとに、どのような決済手段を利用されますか。（複数回答）

※キャッシュレス決済を利用したことがある方が対象。



（備考）令和２年度から「銀行振込」の選択肢を追加している。

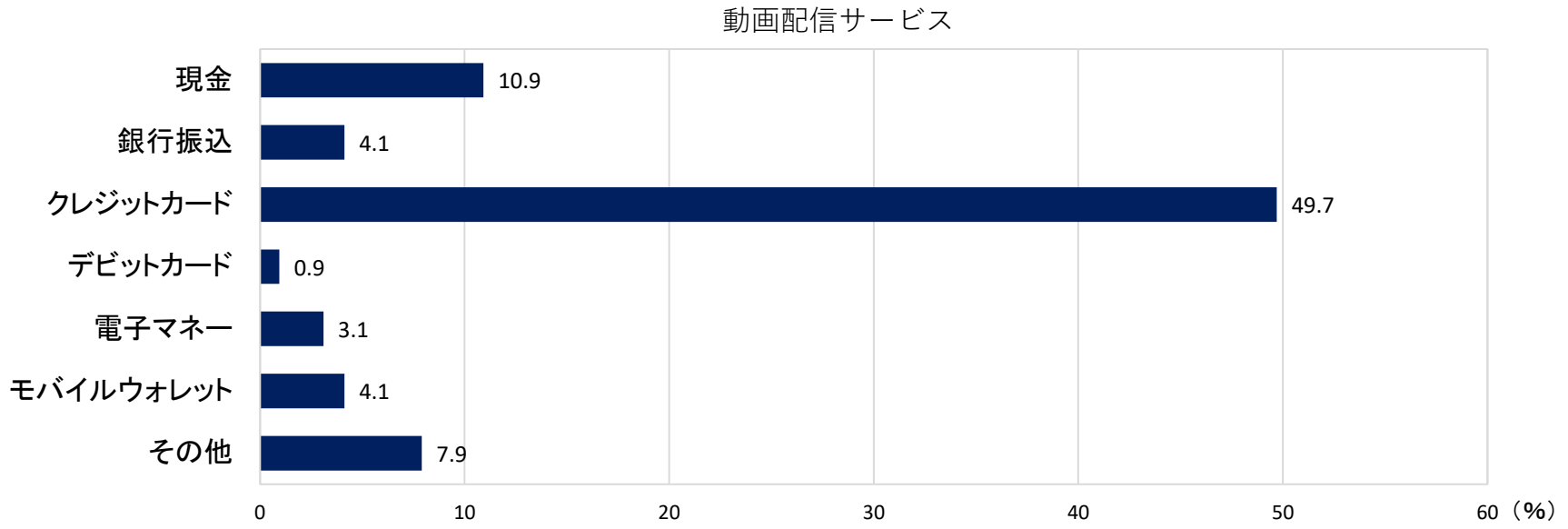
【問１３】キャッシュレス決済について

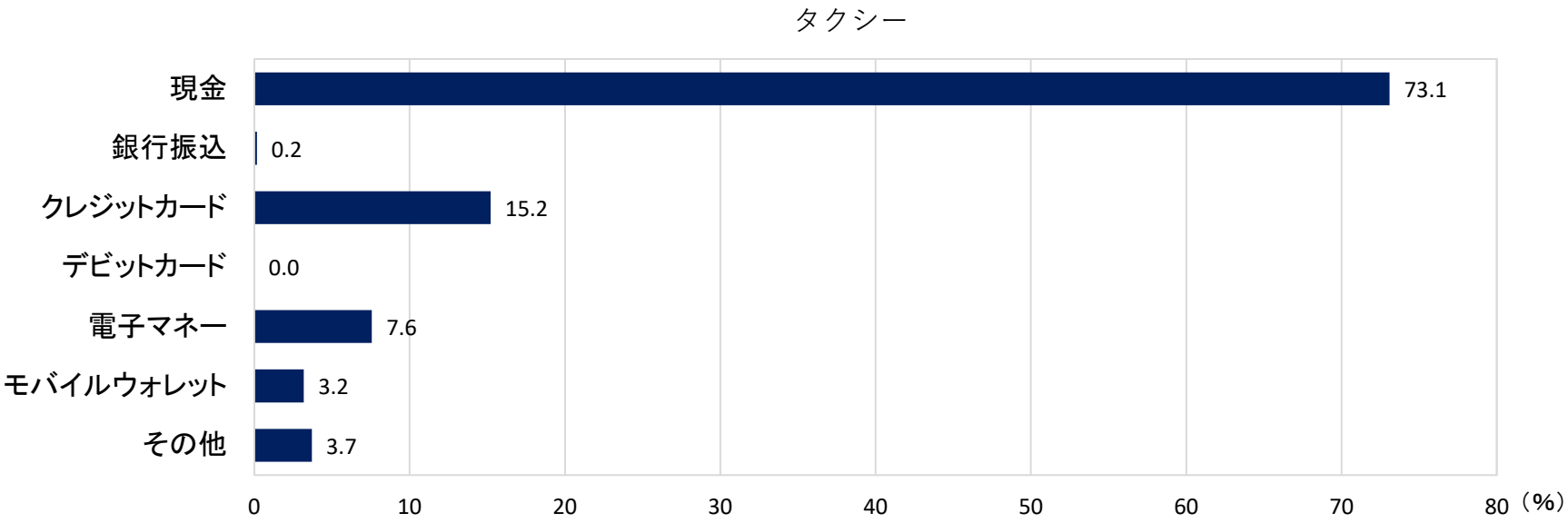
（対象人数：1163人）

【問１３イ】支払い場所ごとに、どのような決済手段を利用されますか。（複数回答）

※キャッシュレス決済を利用したことがある方が対象。

Ｒ２年度



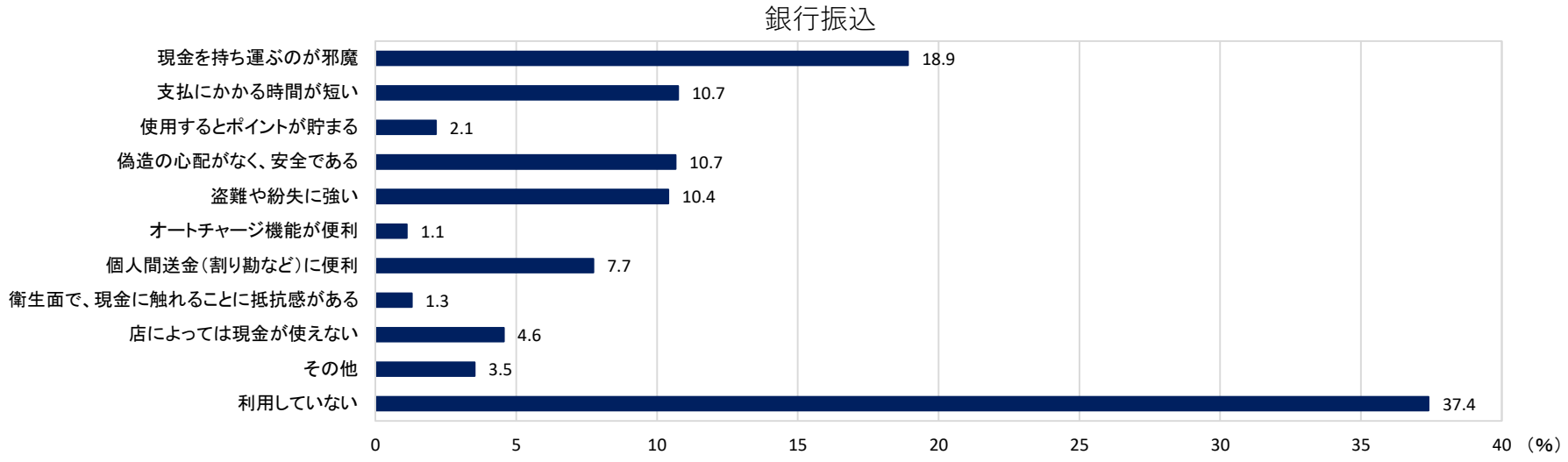


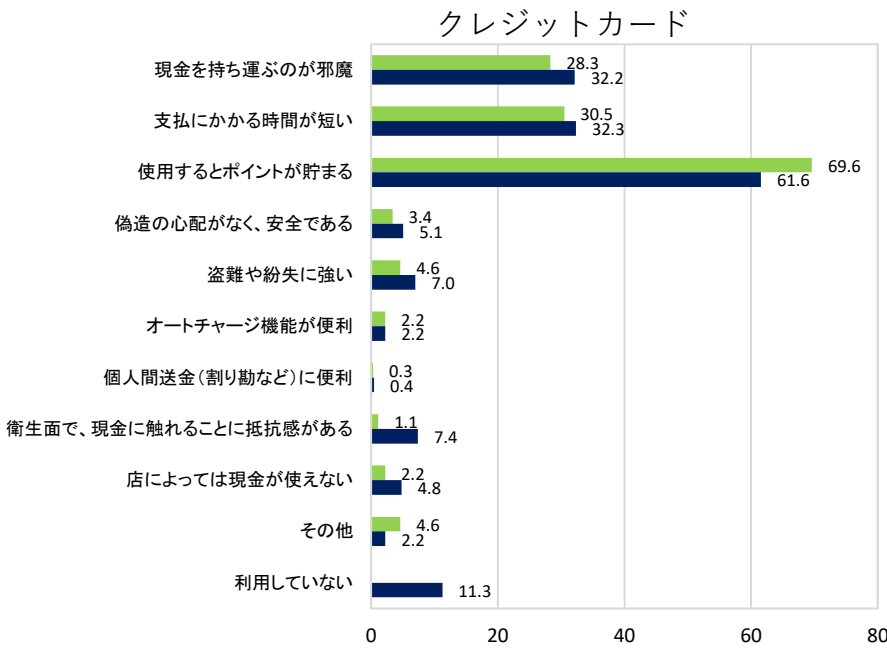
【問１３】キャッシュレス決済について

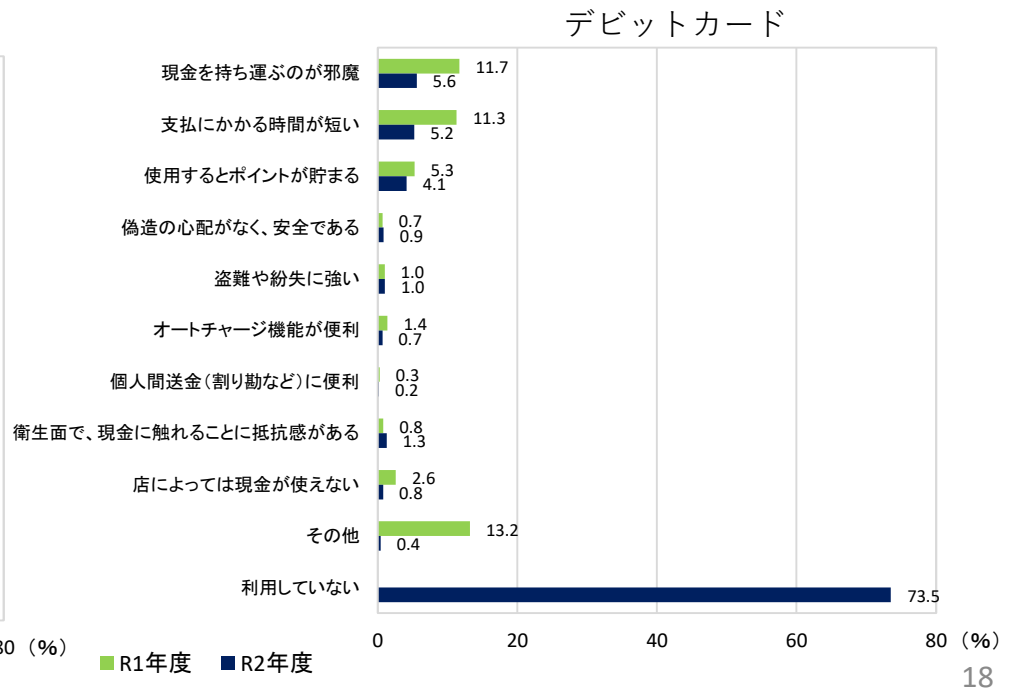
（対象人数：1163人）

【問１３ロ】キャッシュレス決済を利用する理由（複数回答）

※キャッシュレス決済を利用したことがある方が対象。







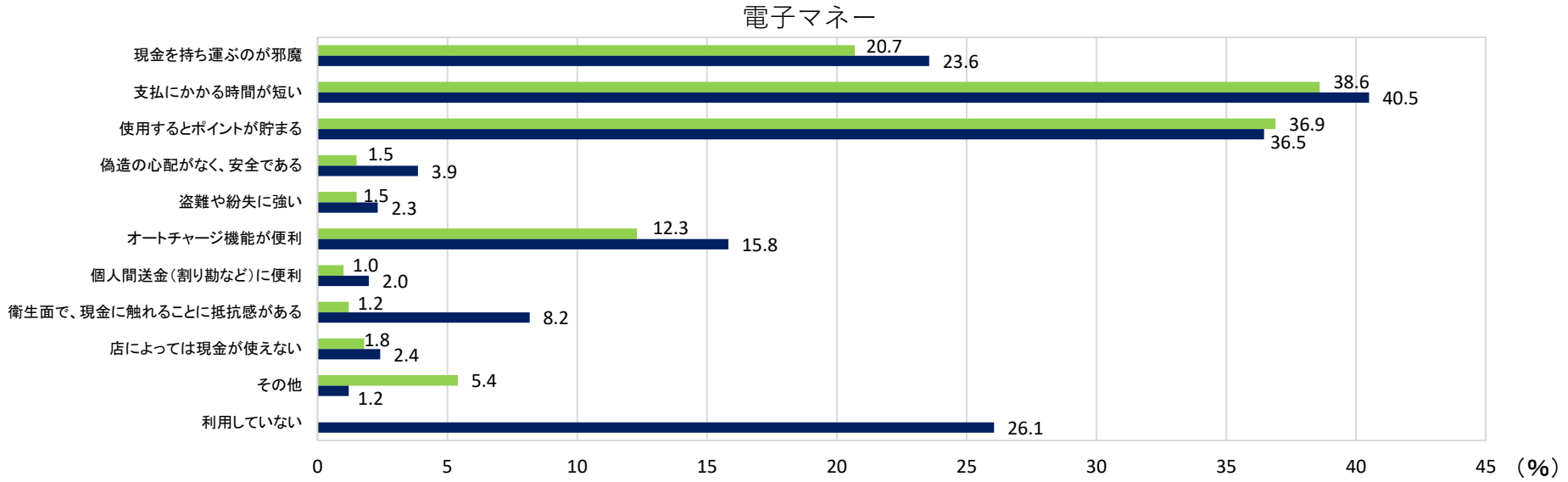
（備考）令和２年度から「利用していない」の選択肢を追加している。

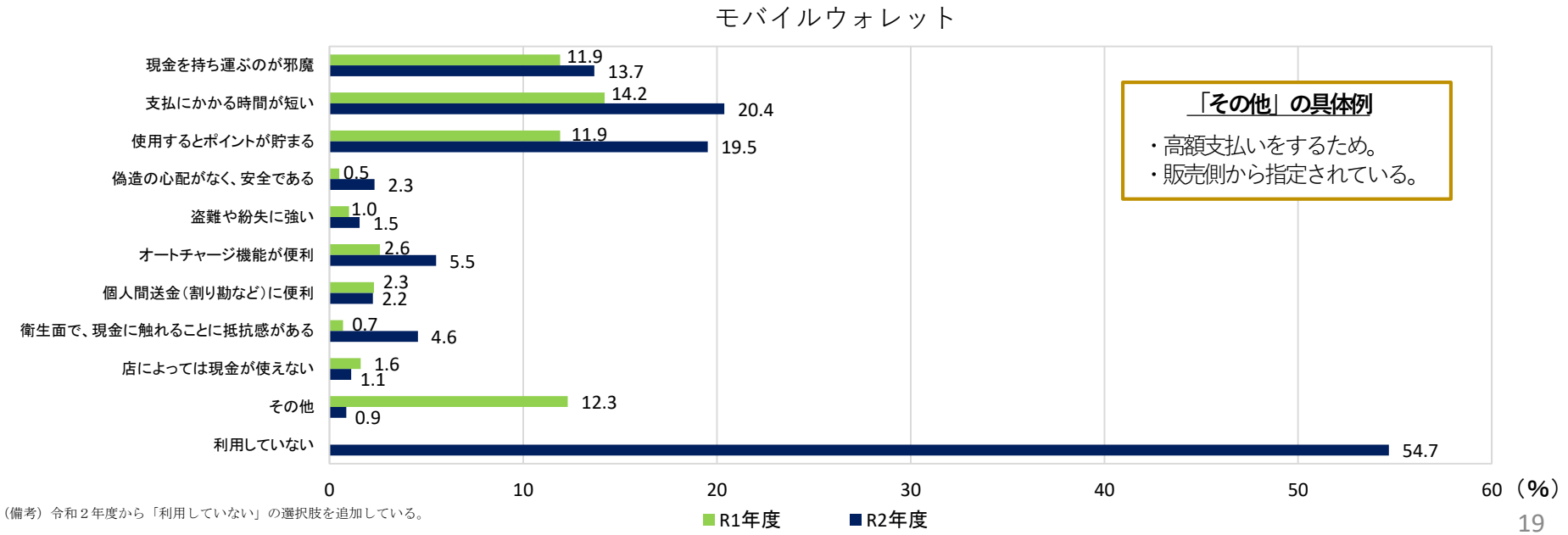
【問１３】キャッシュレス決済について

（対象人数：1163人）

【問１３ロ】キャッシュレス決済を利用する理由（複数回答）

※キャッシュレス決済を利用したことがある方が対象。





「その他」の具体例

・高額支払いをするため。
・販売側から指定されている。

（備考）令和２年度から「利用していない」の選択肢を追加している。

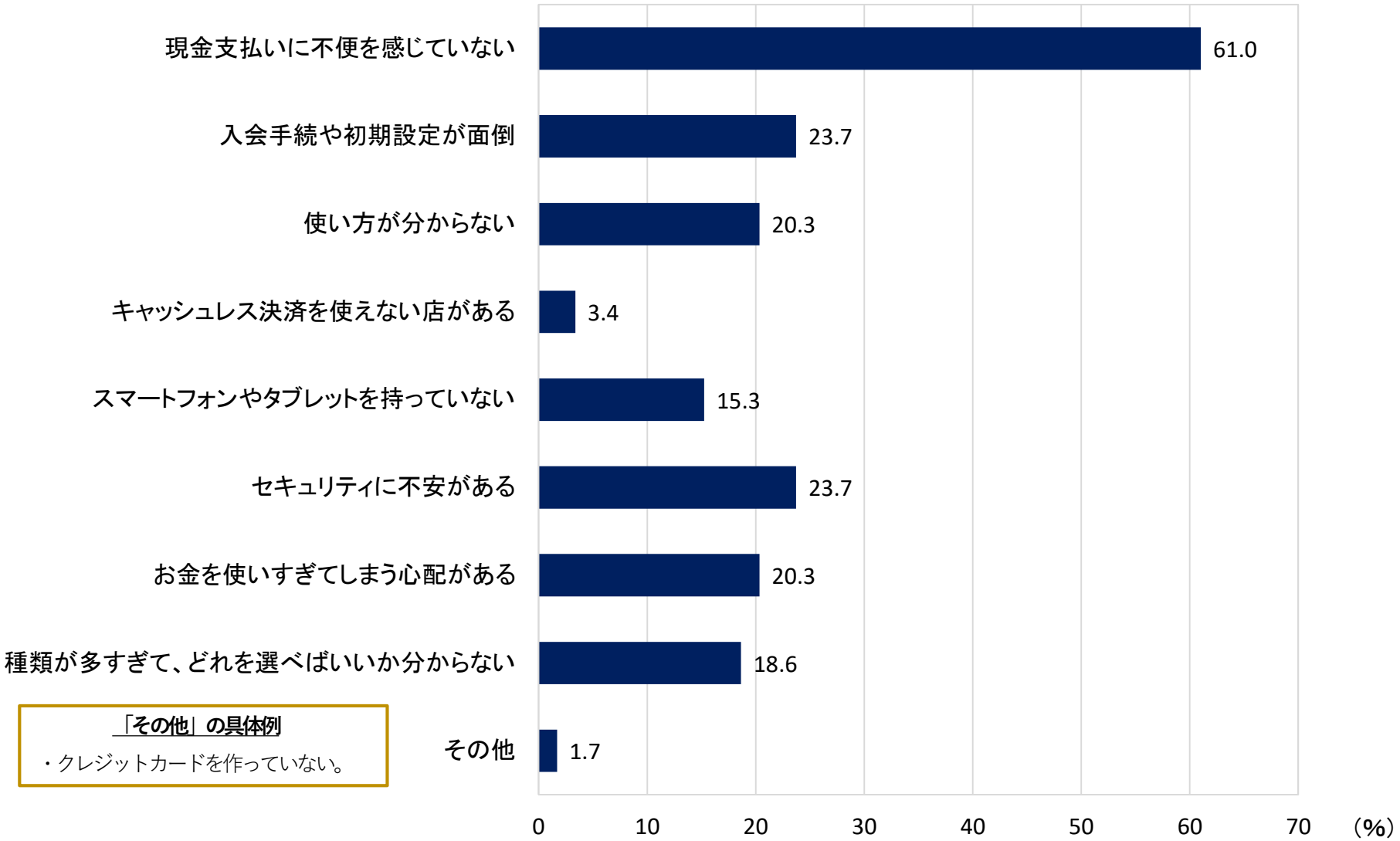
【問１４】キャッシュレス決済について

（対象人数：59人）

【問１４】今までキャッシュレス決済を利用したことがない理由（複数回答）

※キャッシュレス決済を利用したことがない方が対象。

Ｒ２年度



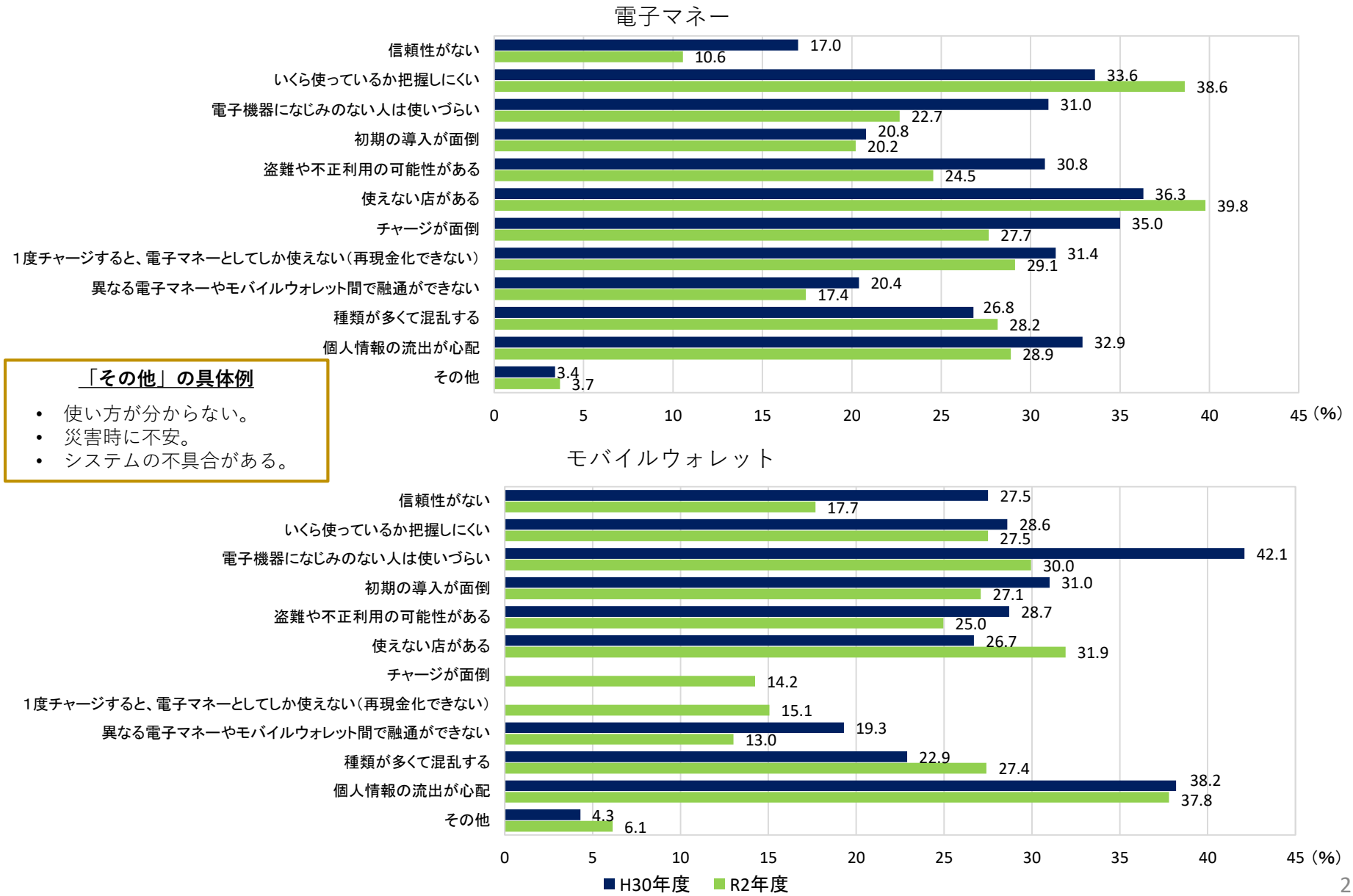
「その他」の具体例

・クレジットカードを作っていない。

【問１５】キャッシュレス決済について

（対象人数　平成30年度：1200人　令和２年度：1222人）

【問１５】キャッシュレス決済の課題について、電子マネーやモバイルウォレットに不便な点・問題点があるとすれば、どのような点ですか。（複数回答）



「その他」の具体例

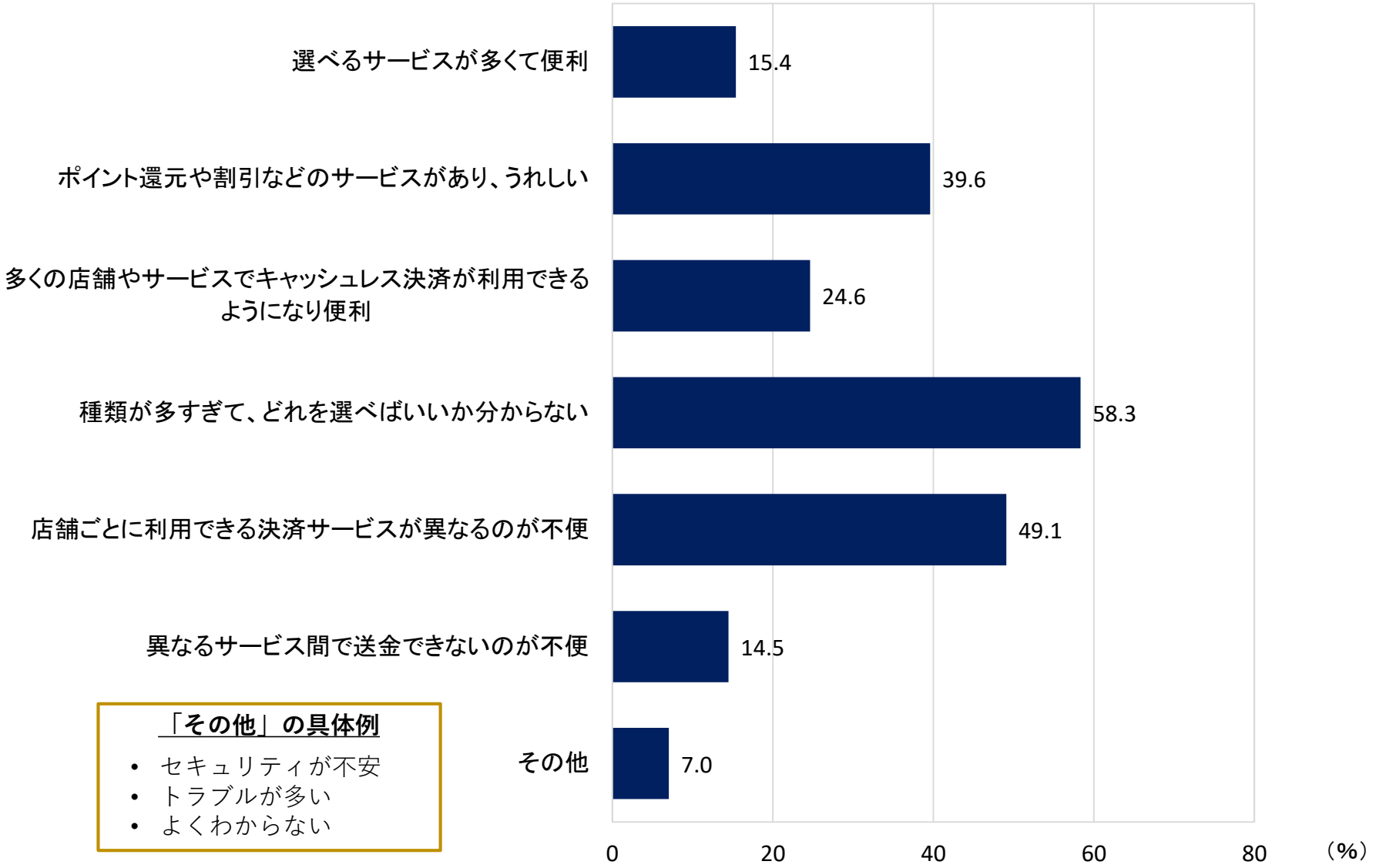
- 使い方が分からない。
- 災害時に不安。
- システムの不具合がある。

【問１６】キャッシュレス決済について

【問１６】数多くのキャッシュレス決済サービスが登場していますが、こうした状況についてどう感じていますか。（複数回答）

（対象人数：1222人）

Ｒ２年度

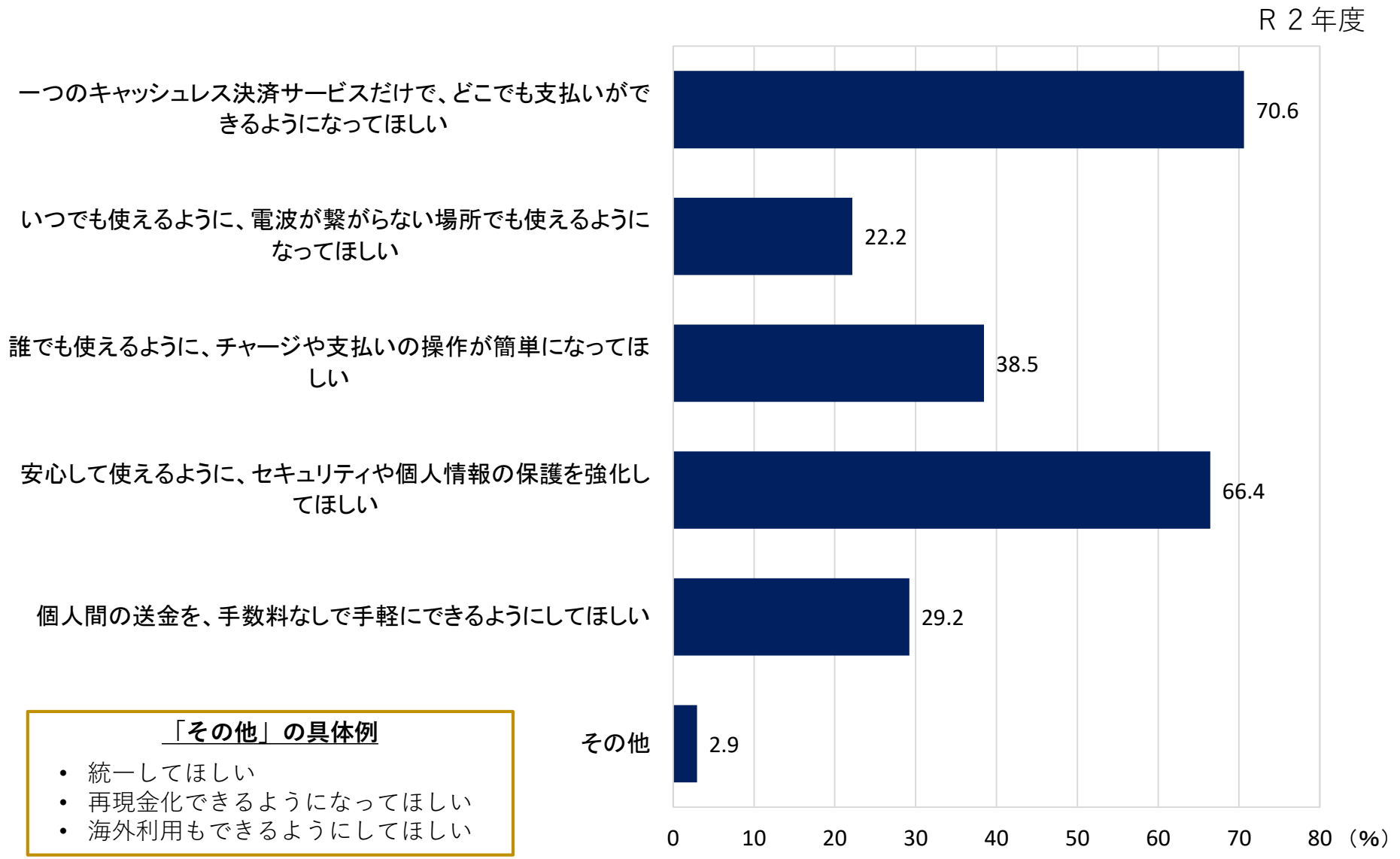


「その他」の具体例

- セキュリティが不安
- トラブルが多い
- よくわからない

【問１７】キャッシュレス決済について　（対象人数：1222人）

【問１７】キャッシュレス決済サービスについて、将来的に実現してほしいと思うことはありますか。（複数回答）



「その他」の具体例

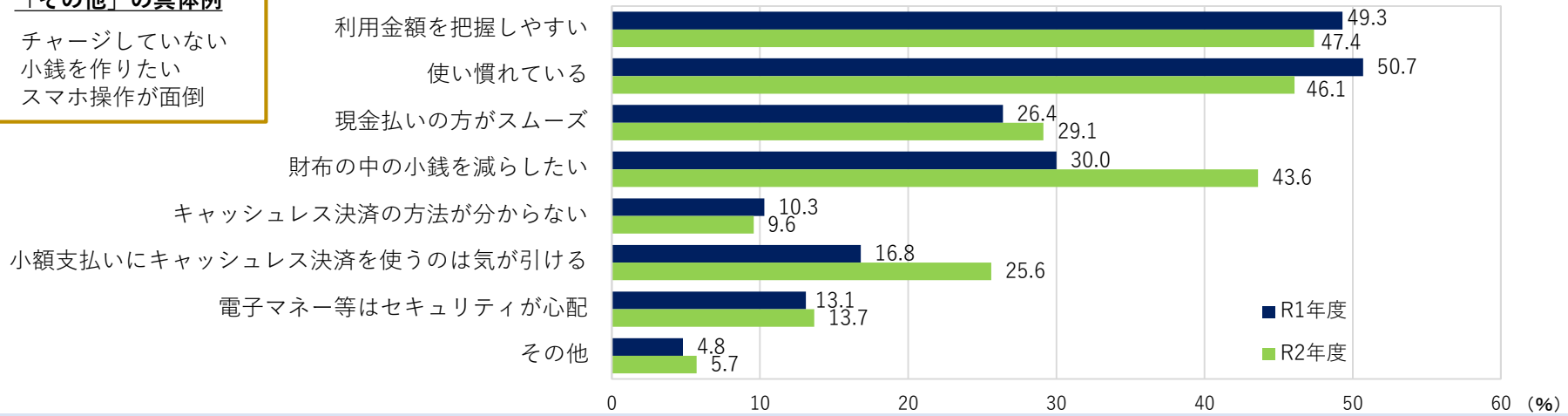
- 統一してほしい
- 再現金化できるようになってほしい
- 海外利用もできるようにしてほしい

【問１８】キャッシュレス決済について

【問１８イ】キャッシュレス決済が利用可能な状況で、現金で支払う理由（複数回答）

対象人数　令和元年度：1200人
　　令和２年度：1222人

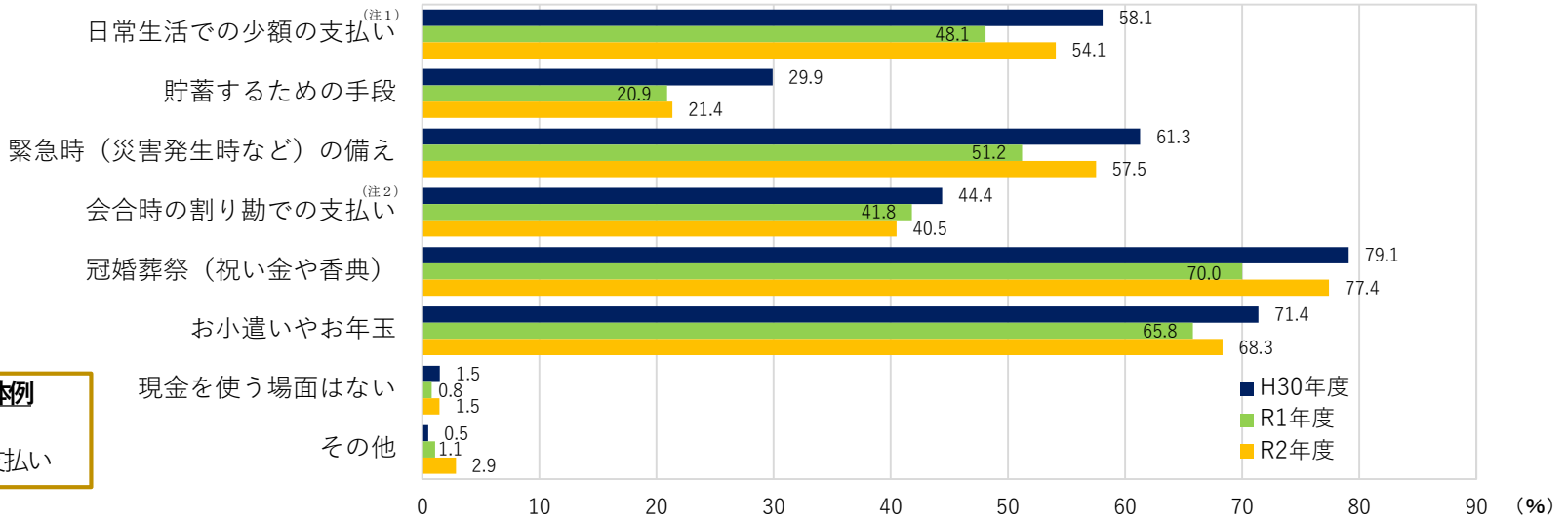
「その他」の具体例
- チャージしていない
- 小銭を作りたい
- スマホ操作が面倒



【問１８ロ】今後日本社会でキャッシュレス化が進んだとしても、引き続き現金を使う必要があると考えられる場面（複数回答）

対象人数　令和元年度以前：1200人
　　令和２年度　　：1222人

「その他」の具体例
- 子供の教育
- 病院・役所での支払い

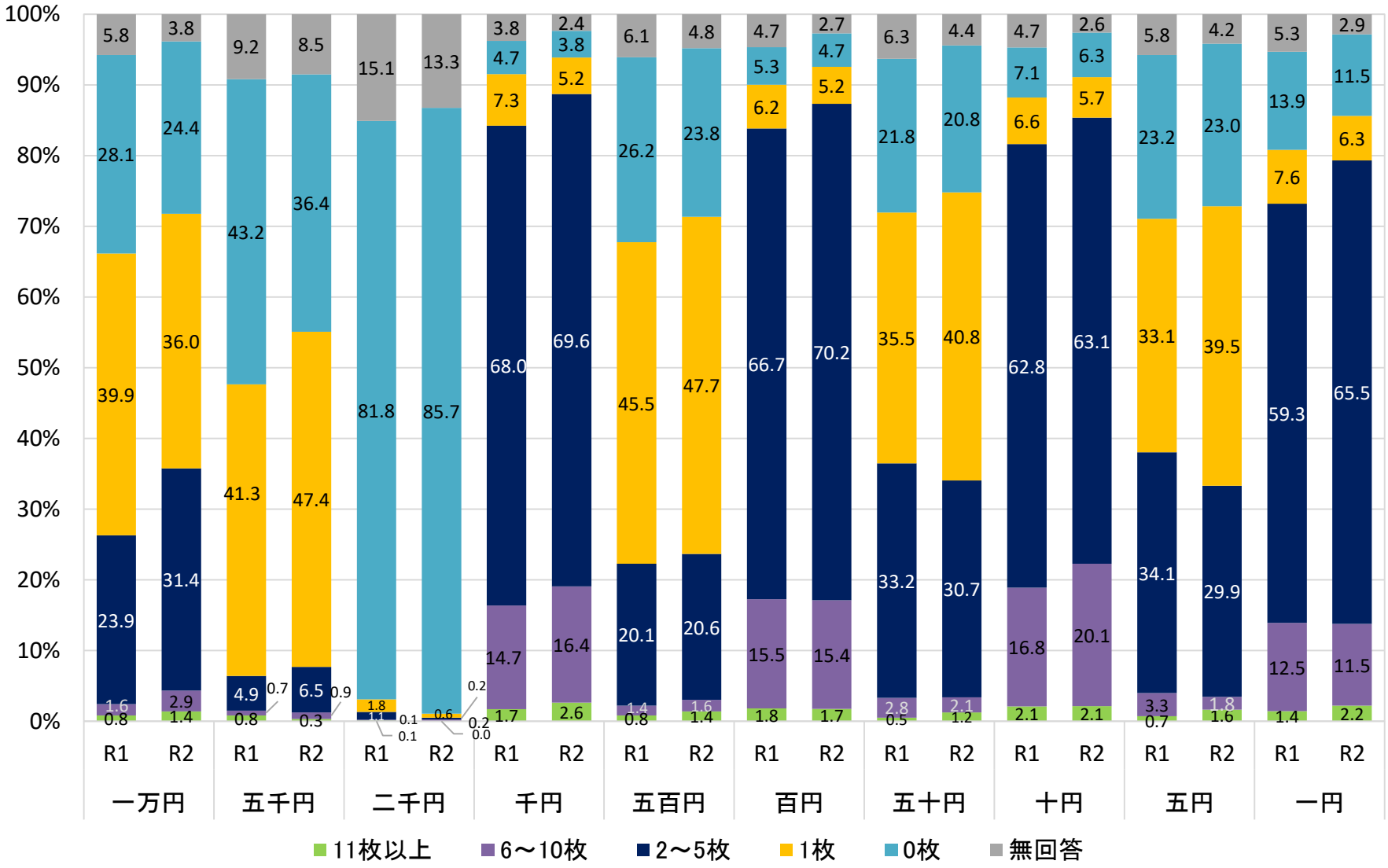


（注１）平成30年度、令和元年度の計数は「日常の支払」との選択肢に対する回答を記載したもの。
（注２）平成30年度、令和元年度の計数は「会合時の会費の支払い」との選択肢に対する回答を記載したもの。

【問１９】通貨流通量関係について

対象人数　令和元年度：1200人
令和２年度：1222人

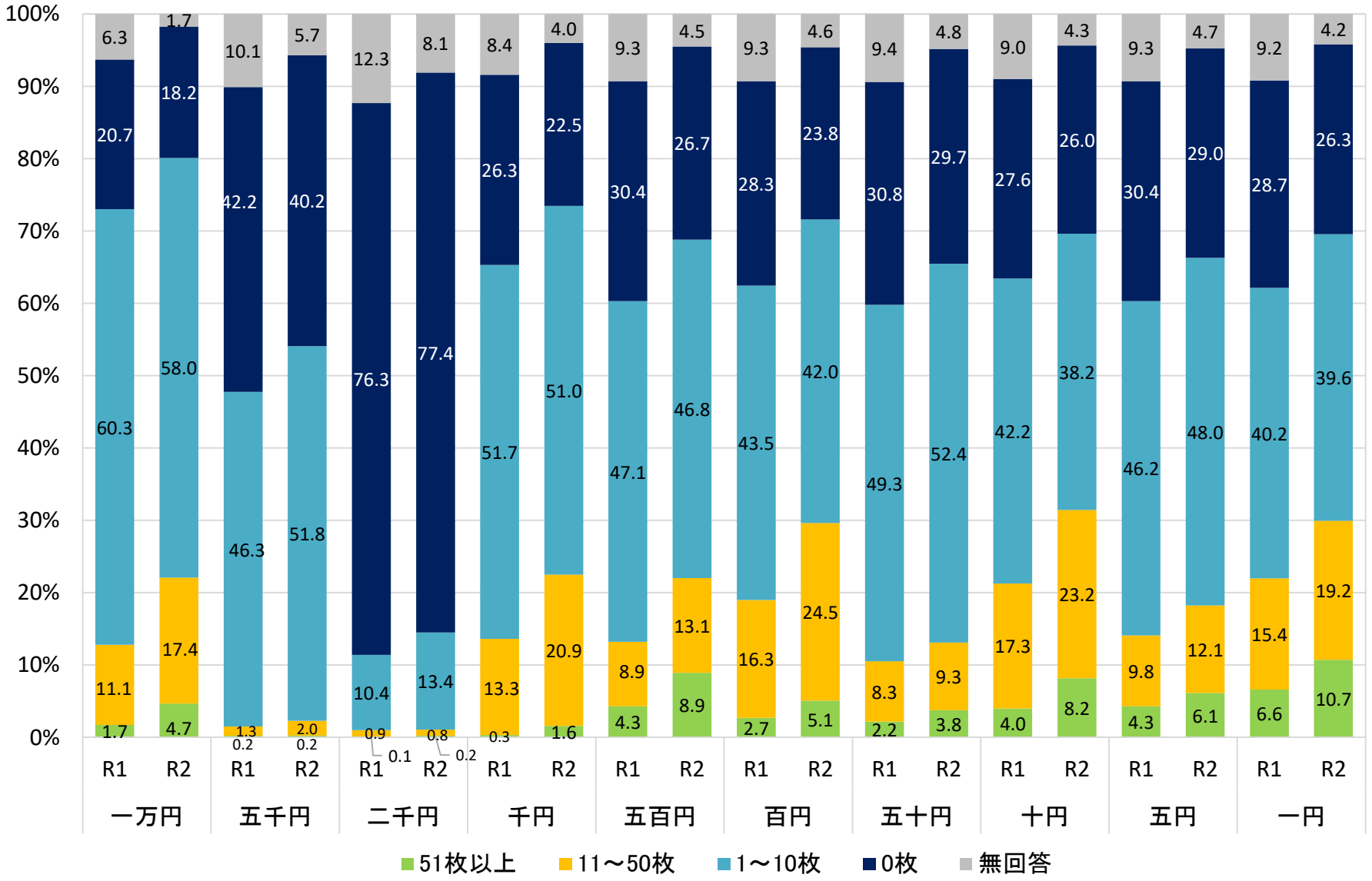
【問１９イ】現在財布に入れている現金は、いくら位ですか。（１つずつ回答）



【問１９】通貨流通量関係について

対象人数　令和元年度：1200人
令和２年度：1222人

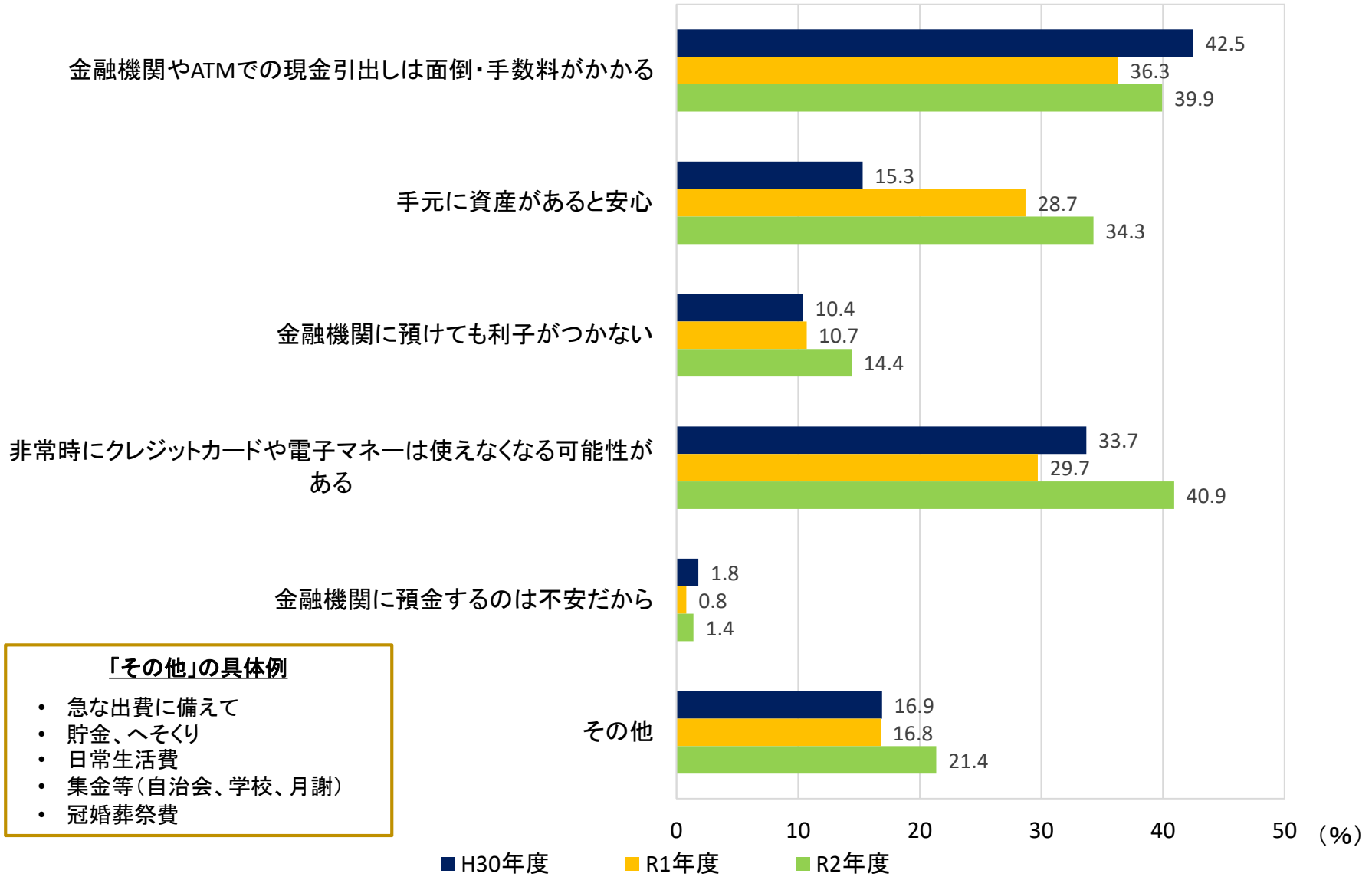
【問１９ロ】現在自宅で保有している現金は、いくら位ですか。（１つずつ回答）



【問１９】通貨流通量関係について

【問１９ハ】自宅で現金を保有する理由（複数回答）

（対象人数　令和元年度：1200人　令和２年度：1222人）



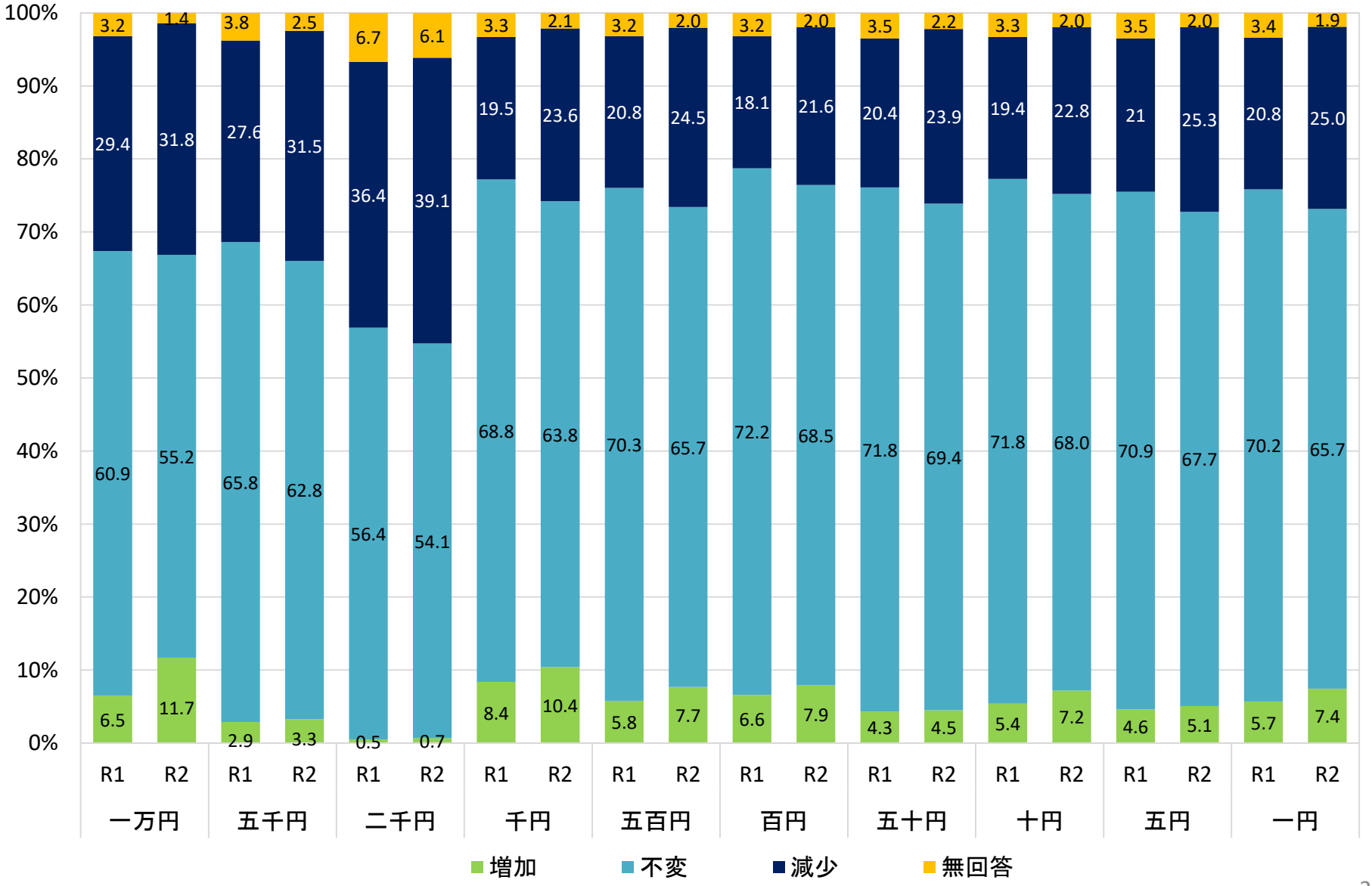
「その他」の具体例

- 急な出費に備えて
- 貯金、へそくり
- 日常生活費
- 集金等（自治会、学校、月謝）
- 冠婚葬祭費

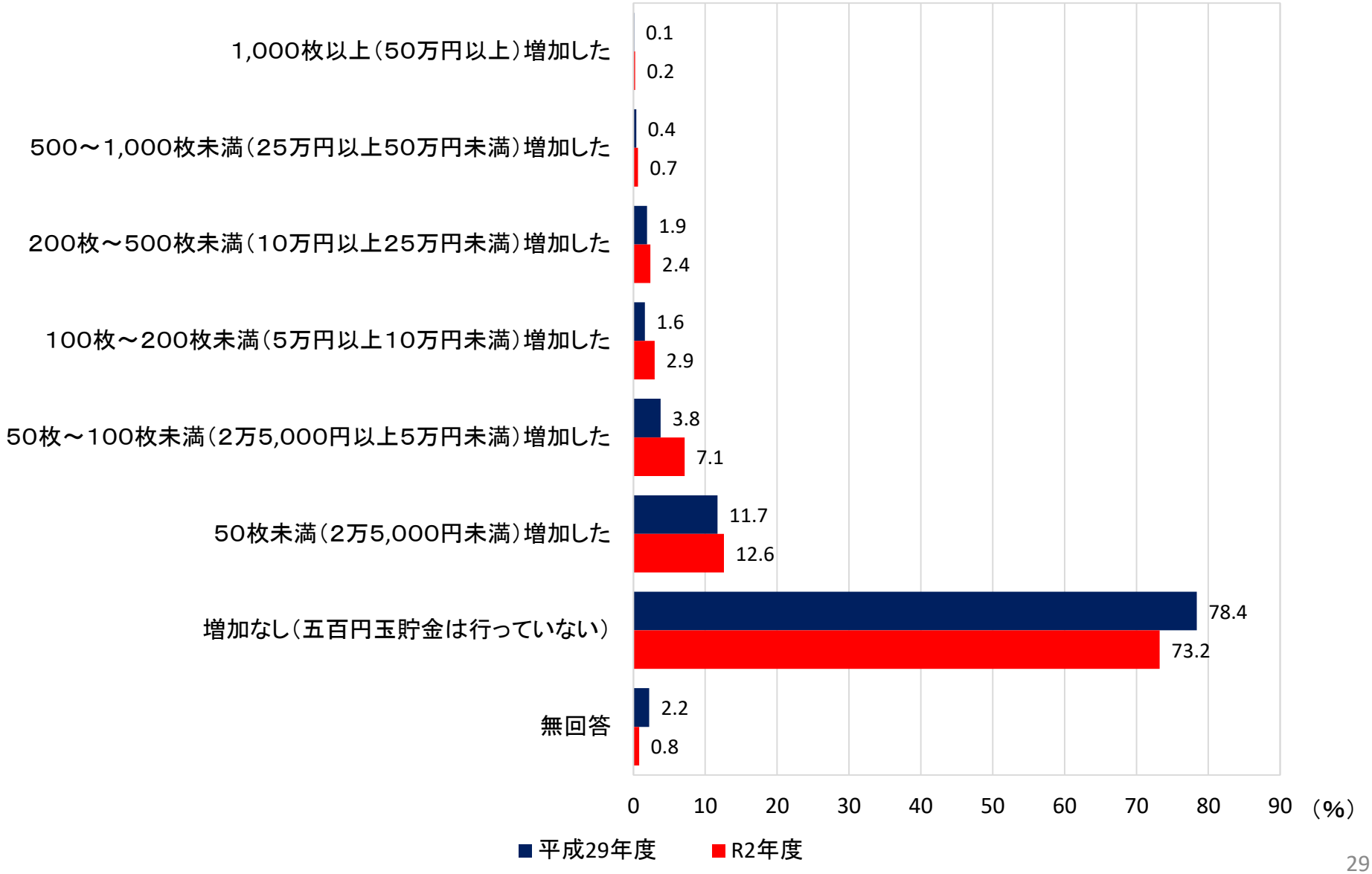
【問２０】通貨流通量関係について

対象人数　令和元年度：1200人
令和２年度：1222人

【問２０】以前と比べて、銀行券や貨幣の保有量はどのように変化しましたか。（１つずつ回答）



【問２１】通貨流通量関係について

（対象人数　平成29年度：1200人　令和２年度：1222人）

【問２１】五百円玉貯金はどの程度増加しましたか。（１つだけ回答）